

關大

第535号

平成18年(2006年)9月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学会館

電話 06(6368)1121 代 FAX 06(6380)8476

ホームページがリニューアル

URL <http://www.kandai-koyukai.com/>

Eメール koyukai@jm.kansai-u.ac.jp

120周年記念校友総会を10月15日(日)に開催
第39代学長に河田教授再選
天神祭船渡御に「関大丸」就航
平成18年度全国組織代表者会議開く



120th
Kansai University

母校関西大学は本年(2006年)11月4日に創立120周年を迎えます。

「アイスアリーナ」のオープニングセレモニー

關大

第五三五号

平成十八年九月十五日発行(奇数月十五日発行)
昭和三十年八月六日第三種郵便物認可

発行人

校友会長

一軸浩幸

発行所

関西大学校友会

〒五六四・八六八〇

吹田市山手町三丁目三番三十五号

電話〇六(六三六八)二二二(代)

振替口座

009302755594

定価〇〇円
(送料別)

次代へ躍進を続ける。
失敗を恐れず積み重ねた、チャレンジの数々が
明日のマンション業界を大きく変革させます。

activity

住まいと暮らしの新しい価値を創造する日本エスリード。

日本エスリードは2005年まで4年連続で大阪府下や近畿圏単独事業の供給ランキングで第1位※1など、近畿圏のトップディベロッパーとしてマンション業界をリードしています。理念である「住む人の立場にたった住まいづくり」を実践し、安心して暮らせる高品質な住空間を提供することで、積み上げた実績は1万5,000戸※2。この数字は今も増加し続けています。しかし、大切なのは数字そのものではなく、住まいを求める方々にどれだけの「新しい価値」をご提供できたか、ということ。日本エスリードでは関西大学の学風＜学の実化＞にも通じる「新しい価値の創造」に全社を挙げて取り組み、日々新たな挑戦を続けています。

※1不動産経済研究所調べ ※2平成18年7月末現在

国土交通大臣免許(3)第5489号

(社)不動産協会会員 東京証券取引所 1部上場 大阪証券取引所 1部上場

日本エスリード株式会社

代表取締役社長 荒牧 杉夫 (昭54学1経)



日本エスリード株式会社のホームページ
インターネットでもエスリードシリーズのマンション発売情報を提供しています。

<http://www.eslead.co.jp/>

au <http://www.eslead.co.jp/au/>

携帯電話からもご覧になれます。

iモード <http://www.eslead.co.jp/i/> ボーダフォン <http://www.eslead.co.jp/vb/>

〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3-2400 (大阪駅前第3ビル24F・25F) 総合受付24FTEL.06(6345)1880(代) FAX.06(6345)1770

120周年記念校友総会を10月15日(日)に開催	2
第39代学長に河田悌一教授再選	8
天神祭船渡御に「関大丸」就航	4
平成18年度全国組織代表者会議開く	6

11月11日(土)に第34回事業部見学会、参加者募集3

大学学生関係

政策総合学部設置構想着実に進む	9
アイスアリーナ 7月13日に竣工	11
科学技術振興会海外研修	12
きらっ人校友録②	14
創立120周年記念事業資金寄付者芳名(第22回)	16
北から南から(各地支部だより)・会と催し	21
校友トピックス・校友短信	32
新刊紹介	34
網干善教 名誉教授逝去・訃報	35

百二十周年記念校友総会

とき 平成18年10月15日(日) 10時受付・午前11時開会
ところ 千里山キャンパス・中央体育館

日程 第1部総会(11時~12時半)
開会の辞・学歌斉唱・物故校友への黙祷・来賓紹介・会長挨拶・感謝状贈呈・来賓挨拶・会務報告

昼食(12時半~13時半) キャンパス内で自由に(模擬店あり)

第2部記念講演(13時半~15時)
テーマ 「関西大学がすべての始まりだった」
講師 桂 三枝氏(上方落語協会会長・関西大学客員教授)

逍遙歌合唱・万歳三唱・閉会の辞

と き 平成18年10月15日(日) 10時受付・午前11時開会
と ころ 千里山キャンパス・中央体育館

電の雫

本誌の前号(第534号)で「藤野力君を支える会」の記事を読み、熱いものがこみ上げてきた▼藤野君は本年四月に行われた練習試合中に頸椎を損傷するという深刻な怪我を負った。激しく神経を損傷したため、現在も胸部以下のお半身が麻痺した状態になっているとのこと▼しかも、重傷でありながら彼は強い意志で体の回復と復学のために神経の修復手術を受け、機能回復の長期間リハビリテーションに取り組んでいる。この事故を知った学生たちは「藤野力君を支える会」を結成して彼に力強く激励しつづけている▼運動競技に事故は不可避というが、それ故に指導者や関係者は事故防止のために細心の注意をはらっている。それでもこのような重大事故が起きてしまった▼指導者の責任でもない、相手選手でもない、もちろん彼の責任でもない。不可抗力としか言えない。この事故でチームメイトや指導者も大きな衝撃を受けたことであろう。しかし、この事故に怯むことなく一層の鍛錬に励み、チームが好成績を上げることが彼への激励になるだろう▼私たち校友も心の底から「がんばれ藤野」と声援を送りたい。彼を激励することは、全関大生に「校友は常に君たちを応援している」というメッセージでもある▼藤野君に告ぐ!ガンバレ!藤野ガンバレ!藤野、キャンパスは君の学業復帰を笑顔で待っている!▼全国三〇万校友は君の笑顔を待っている!

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは
関西大学生協同組合 Tel:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>

シリーズ「関西大学図書館の特別コレクション」〈8〉



多言語対訳聖書

多言語対訳聖書 詩篇 ジュスティニアニ編 1516年

コルシカ島ネビオの司教であったジュスティニアニ(Agostino Giustiniani, 1470-1536)が10年もの歳月をかけて編集し、1516年に出版されたもので、旧約聖書の一部、詩篇のみではあるものの、世界で最初が多言語対訳聖書とされている。アラベスク模様の飾りに囲まれた本書の標題は、ヘブライ語・ラテン語・ギリシャ語・アラビア語・聖書アラム語で書かれ、当時の教皇レオ10世宛の序文や奥付も同じく5つの言語で書かれている。また、本書はコロンブスの生涯について最初に記した印刷物としても知られている。本書発行の10年前の1506年に亡くなったクリストファー・コロンブスの生まれたのが、この聖書の作られたジェノヴァだったからであろうか。ジュスティニアニは詩篇19の第4節への注釈として、コロンブスの生涯と冒険の旅について5頁にわたって詳しく記している。

10月15日(日)に記念校友総会 千里山キャンパス・中央体育館で開催

十月十五日の日曜日に千里山キャンパス・中央体育館で開催される母校創立百二十年記念校友総会(平成十八年度総会)が、いよいよ一か月後に迫った。執行部では催し内容や記念品について着々と準備を進める一方、「記念校友総会でも、ともに祝おう母校創立百二十年!」と最後の呼びかけを行っている。

記念校友総会の日程は、第一部総会(十一時~十二時半)、昼食(十二時半~十三時半)、第二部記念講演(十三時半~十五時)となっている。第一部総会は例年の総会と同じ内容で企画しており、第二部記念講演では、校友の落語家・桂三枝師匠が、「関西大学がすべての始まりだった」とのテーマで講演する。

上方落語協会会長として「天満天神繁昌亭」の建設に奔走するなど、関西落語界の重鎮として活躍する三枝師匠の始まりは、母校関西大学にあるとのこと。手持ちする学生時代の写真等をスライド上映しながら、思い出とともに友人との交流など、三枝師匠ならではの語り口で講演いただけるものと期待される。

昼食(弁当)は、総合学生会館・メディアパーク凛風館の二階にある生協レストラン他、キャンパス内で自由にとつてもらうが、中央グラウンドでは陸上競技部の対法政大学定期戦が予定されており観戦もできる。また中央体育館前には、生協が十一の模擬店を開店。おでん、焼きそば、缶ビール・ジュースなどを販売する。

関西大学発祥の地から
千里山まで
10月15日に記念ウォーク開催
記念校友総会の当日には校友会が後援する「関西大学創立百二十年記念ウォーク」が開催される。主催は関西大学創立百二十年記念ウォーク実行委員会。

百二十年記念行事の一環として実施するもので、関西大学発祥の地「大阪西区京町堀(願宗寺)」から、旧江戸堀校舎、興正寺など史跡を辿り、天六キャンパスで昼食(事前申込者には弁当を無料配付)。その後、千里山キャンパスまで全長約十五キロのコースをウォークする。午後一時には中央体育館前で解散となり、後は記念校友総会への参加も可能。

開催要項は次のとおり。

▼開催日 10月15日(日)午前8時集合(雨天決行、気象警報発令の場合は中止)

▼集合場所 西区うつほ公園・噴水南広場(地下鉄四つ橋線「本町」駅下車、徒歩10分)受付テントあり

▼参加費 一二〇円(受付で支払い、参加者ワッペンを受け取る)

▼定員 五〇〇人程度(申込先着順、最終10月6日郵送必着)

▼参加賞 完歩者には、千里山キャンパスで完歩証を渡します。

▼申込方法 ①FAX専用紙にて、〇六―六三三〇―三七〇三まで。②はがき裏面に「関西大学創立百二十年記念ウォーク参加申込み」と書き、「氏名、性別、年齢、住所、電話番号」を記入して、五六四―八六八〇 吹田市山手町三―一三五、関西大学学生センター内「関西大学創立百二十年記念ウォーク実行委員会事務局」係まで。

▼詳細の問い合わせ等は、学生センター内の同実行委員会まで(電話〇六―六三六八―〇一五八)

佳節に協賛し作品展
井手孝校友が総会の日
本紙前号に同封して全校友に届けられたチラシにあるように、

ともに祝おう母校創立120周年!



旧第1グラウンドから見た旧図書館本館
かつての千里山キャンパスの代表的なアングルであった

に協賛して、記念校友総会の日には作品展を開く話がまとまったもの。記念校友総会にタイアップして展示即売し、その売上金の一部を記念事業募金として寄付する予定。

この日、出展する作品は、リビングの壁を飾るに手頃でふさわしいモチーフの作品が多く、井手さんは「思い出に連なる楽しい作品を、ぜひ皆さまのご家庭に飾ってほしい」、そして「母校の百

二十年記念事業を何としても成功させたい」と、今、残暑のなかを精力的にアトリエで制作に取り組んでいる。

当日は、先に出版した画集、画文集、絵葉書等も出展の予定で、恩師や同窓の仲間たちも、作品展が開かれる記念



キャンパスで気楽に座り込んでスケッチする井手さん

校友総会の日を楽しみに待っている。
(石田健一)

校友会では今年三十四回を迎える事業部見学会を左記要項にて開催します。

今回は日帰りツアーとして、午前中は母校の高槻キャンパスを訪ね、全国の大学で初の国際競技規格の通年型スケートリンクとして建設された「関西大学アイスアリーナ」をはじめ、最新の情報機器を備えた総合情報学部(学舎等)を見学。特にアイスアリーナではアイススケート部またはアイスホッケー部の練習風景をご覧いただく予定です。続いて見晴らしのよい生協食堂で、地元高槻島本支部をはじめ近隣支部校友との交歓会を兼ねた昼食会(学

第34回事業部見学会

関大高槻キャンパスと山崎の景観を訪ねて

11月11日(土)に開催

学いたします。ご家族等の同伴も可です。校友の皆さんの多数のご参加をお待ちしています。

▼開催日 平成18年11月11日(土)

生食堂のため酒類は出ません)を開催いたします。

午後は景勝の地・山崎にあるサントリー山崎蒸溜所とアサヒビール大山崎山荘美術館をゆっくり見

▼集合 午前9時15分・JR高槻駅前(JR高槻駅までの交通費は各自負担)大阪駅からJR新快速で約17分、片道二五〇円

▼行程 9時30分・JR高槻駅前出発(貸切観光バス)10時・

関西大学高槻キャンパス(アイスアリーナ・馬場・総合情報学部学舎見学、生協食堂で昼食交歓会)13時30分・サン

トリー山崎蒸溜所(見学・試飲)15時・アサヒビール大山崎山荘美術館(見学)16時(現地解散)JR山崎駅、阪急大山崎駅まで徒歩10分

▼参加費 三、〇〇〇円(同伴者・子供も同額)

▼募集定員 先着一三〇人(家族等同伴可)、最終10月20日まで。

▼問い合わせ・参加申込先 〒五六一八六八〇 吹田市山手町三―三三五・関西大学校友会事務局(電話〇六―六三六八―〇〇四四、FAX〇六―六三八〇―八四七六)まで。

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」・「環境」・「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO- 9001



ISO-14001



OHSAS-18001



井手孝校友(昭48学一史)による大学キャンパス風物画を中心とする作品展が、記念校友総会が開かれる十月十五日(日)に千里山キャンパス正門の新関西大学会館南棟アートギャラリーで開催される。

井手さんは、長くニューヨークに住み、広くヨーロッパ各地を舞台に創作活動が続けている水彩画家。競争の激しいニューヨーク画壇にあつてユニークな存在感を示し、マスコミにも登場し、本紙でもすでに二度にわたつてその活躍振りを紹介した。二十一世紀型総合学園に向けて着々と整備・充実が進められているキャンパスでは、伝統的な面影を残す配慮が随所に加えられている。校友が訪れた学舎の一角や樹木の緑に、学生時代の思い出を投影できたときの郷愁を大切にしたいという井手さんは、母校に足を運び現在のキャンパスを取材する一方、年配の校友にも懐かしい、往時の母校のたたずまいも作品に仕上げていく。他に動物や鳥、ヨーロッパの風物などモチーフは豊富で、いずれも暖かく叙情的な、清澄で美しい色彩で描かれている。

今回は、母校創立百二十年の佳節にあたり、周年記念事業

天神祭・船渡御に「関大丸」就航

船上から85万人に120周年をPR

「祝関西大学創立百二十周年・関西大学校友会」、両舷を大電飾看板で飾った「関大丸」が、暮れゆく大川をゆっくりと下る。橋の上から、岸から、すれ違う船から「関大さん、百二十周年おめでとう」の声、乗り込んだ校友ら二百三十人も「大阪締め」で、また手を振って「ありがとう!」——校友会では、七月二十五日に行われた天神祭のクライマックス・船渡御に奉拝船「関大丸」を就航させ、見物の市民ら八十五万人に母校の創立百二十周年を大々的にPRした。乗船者も、大阪天満宮文化研究所研究員の高島幸次先生（夙川学院短期大学教授）の解説に、二部応援団の演舞演奏に、打ち上げ花火に船渡御を堪能した。校友会の百二十周年記念行事の一つとして企画したもので、出航前、船上では同じく奉拝船を仕立てている大阪大学の宮原秀夫総長が河田悌一学長と、神戸大学の野上智行学長と森本靖一郎理事長がお互いの法被を交換してエールをおくり、大学の発展を誓い合った。

圧巻だった船上からの花火 行き交う船と大阪締めの交換

「打ちまあーしょお ちょん、ちょん もひとつせえ ちょん、ちょん い（祝）おうてさんど（三度） ちょちょん、ちょん

おめでとーございます」、「間違う人がいます。天神さんでは「うー（打）ちましょお」ではなく、「打ちまあーしょお」

まあを伸ばすのですよ、それではもう一回練習しましよお」「打ちまあーしょお……」

午後六時を過ぎると、奉拝船「関大丸」では天満天神御伽衆の仕掛け人の高島幸次先生が乗り込んできて、船渡御で川下りの船と交わす「大阪締め」の指導が始まった。

この練習が終わると船上に応援団旗を掲げ、二部応援団長（女性！時代の変遷？）



交わしながら出航し、関大丸もようやく川下りに繰り出した。「大変でっせ」と言う人がいる、実際、例年よく夕立もあったので、雨に濡れてもよく、汗だくをも予想しての服装をしていたが、これらの心配をよそに船には赤の毛氈が敷かれ、椅子もあり、頬に優しい風、大川の悪臭もなく快適な船出であった。校友と共に懐かしい歌を学生時代に戻り歌っていると、お腹

もすいてきた、周りを見ると、船渡御の楽しみの一つ、お弁当を食べ始めているではないか。私も、夏祭りに欠かせない饅頭味のドレッシングをかけ食べら、ちまき、ちらし寿司等々。食事中も行き交う船から、「関大百二十周年おめでとうございます。それでは大阪締めお願いします」と声を掛けられる。箸を置いて大阪締めに応じる。

「関大」に酔いしれた一夕

今年には梅雨明けが遅く天候が案じられたが、当日夕方はいよいよ曇りときどき晴れ。

森本理事長、河田学長をはじめ、二部応援団、チアガールそして私達計二百三十人が乗船。両舷に「祝関西大学創立一二〇周年・関西大学校友会」の看板、大きな紫紺の団旗が風にはためき、「関大丸」



これが簡単そうでなかなか難しい。高島先生に促されて森本理事長と河田学長が前に出て「大阪締め」をされたが、ちよつとなにか違う、で、爆笑。そして、大阪大学、神戸大学の学長先生たちと船渡御では恒例の法被の交換。薄暮の中、いよいよ約百隻の船が動き出した。



左から野上神戸大学学長、森本理事長、宮原阪大総長、河田学長

の指揮の下、吹奏楽部の演奏にのって学歌斉唱が行われた。団員が入り替わり立ち代り指揮をして、チアガールも出て、学生歌・応援歌・新学生歌等々全員で合唱した。百隻もの船の中で吹奏楽団が乗っているのはわが関大丸だけ。出航までの間、大川岸の見物客は暫し吹奏楽を楽しんでいた。

天神祭は千余年の伝統を誇る日本三大祭の一つで、船渡御はそのクライマックス。奉拝船「関大丸」の乗船者募集の記事を見て、母校の百二十周年を祝うと共に天神祭に船の上から参加できる、またとない機会でもあることから早速申し込み、参加した次第である。

奉拝船の乗船場は地下鉄都島駅近くの飛翔橋付近であった。大川岸には屋台がずらりと並びゆかた姿の見物客でいっぱい。乗船場では川岸から川中に三隻

阪神タイガースの看板を掲げた船が来ると、サービスピ精神旺盛な吹奏楽部は「六甲おろし」を演奏するのでみんなで歌う。

船は都島橋を過ぎ、正面にはJR桜ノ宮駅に向かう電車が鉄橋の上で止まっているのが見えた。高島先生は「JR環状線も我々の船渡御を見るために止まるのです!」との案内があった。JRも粋な事をするなど感心するもの束の間、信号待ちで止ま

船渡御では、船と船がすれ違うたびに「打ちまーしょ、チョン、チョン……」と「大阪締め」、大分慣れて皆さんお上手に。途中からは応援団の太鼓も入り、「ドン、ドン、ドン、ドン……」、高島先生「さすが太鼓が入ると迫力が違いますな」

川岸や橋の上のたくさんの人たちとも手を振り合い、チアガールや応援団員の汗が飛び散る若々しい演技に酔いしれ、学歌、応援歌、道遙歌等を声が枯れるまで歌った。

そして、フィナーレは四千発の花火が夜空を彩り、天神祭はピークに達した。

乗船した人達からは「本当によかった。一生の思い出になります」「よい企画をしてくださった」「感激した」と喜びの声があちこちから聞こえた。（広報部 三木 允子）

の船が横に並び、隣の船を通り抜けて順に乗船していくことになる。関大丸は大川岸寄りで、その右隣は「近鉄百貨店」、その右隣は「天満天神繁盛亭」である。関大丸は右二隻の船に乗る人たちが通るわけで、繁盛亭には上方落語協会の落語家の桂文福、ざこばなど大勢が、近鉄百貨店には梨田元大阪近鉄バファローズ監督など有名人が乗船していた。私は文福師匠を捉まえて応援団のチアガールと共に大川岸で記念写真を撮った。（師匠は「桂三枝会長の母校や」と言って気軽に写真に応じてくれ、後で弟子を通じ、「桂文枝いちもん新聞」まで届けてくれた）



あなたも自動車保険を節約できるチャンスです。

まずは、お見積から。

そんぽ24 自動車保険

インターネットから <http://www.union-sv.com/car>

または 0120-24-3724 (代理店コード2470213)。

総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner

株式会社 **ユニオンサービス**

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社 豊中市新千里北町2-20-8 関西大学支店 吹田市千里山東3-10-1 関西大学生協本部内 TEL 0120-505-421



ついていただけである事が判ると船内は爆笑!鉄橋を過ぎると源八橋の先に篝火船が見えた。周りは陽も沈み辺りが暗くなってきた。花火が上がった。ドドドバン、大輪の花火が上がると、これまた素晴らしい。みんなが一斉にカメラを向ける。

手漕ぎの船が船の序列を破って進んでくる。「どんどこ船」と言って、序列を守らずどんどこ進める船からそんな名前がついているという。「打ちまーしょ ちょん、ちょん、……おめでとーございます」と大阪締めをここでも交わす。船は桜ノ宮橋（銀橋）、建築中の新しい橋などを次々とくぐる。みんな物珍しく橋桁を手で触っていた。

桜ノ宮公園は船渡御見物の観客でいっぱい、今度は観客に向かって大阪締め。右前の能奉納船では能舞が奉納されていた。ア



竹中賢一（昭42学一経）Ⅱ投稿（抜粋）

◆平成18年度 全国組織代表者会議 開く

平成十八年度全国組織代表者会議は、七月八日午後一時半から百周年記念会館で開催され、全国から九十団体二百五十人の組織リーダーが出席。「校友ネットワークの構築に向けて」をテーマに、分科会に分かれて熱心な討議を行った。

寺内組織担当副会長の開会挨拶、学歌斉唱に続いて一輪会長は「組織の基本は地域支部だと思ふ。特に代議員の方には職域会や各種団体など、その選出母体を超えて支部総会への出席をはじめ、各種行事に積極的に参加していただきたい。校友のネットワークの拡大にもつながるもので、分科会でも討議していただきたい」と挨拶した。

森本理事長、河田学長の来賓挨拶の後、大東組織副部長が、新しく作成したハンドブック「組織と本部のネットワーク」に基づき、地域支部への支援策や事業活動などを詳しく説明した。

これを受けて第二部では、①組織と本部のネットワーク、②組織と校友のネットワーク、③組織と組織のネットワーク、の三分科会五班に分かれて一時間強に亘り討議を重ねた。若手校友の組織への参加勧誘、同好会など親睦事業の推進とその効果、近隣支部、職域会等との連携、次世代への継承など、日頃から各組織のリーダーが取り組んでいる諸問題につき、多くの実践例や意見が発表された。

座長から各分科会での討議内容が発表された後、懇親会に移り、リーダーたちは分科会の雰囲気そのままに、時間を惜しんで活発な意見交換を行った。

分科会報告

校友会活動への参加意識のアンケート調査を要望

第1分科会（1班）



（1）地域支部への本部からの支援制度では、総会案内郵送代一割相当の助成や住所宛名シールの提供、機関紙「関大」への総会案内の同封等について、その周知や活用方法を討議。要望として、「関大」新年号は全校友に送付されるので、その際に支部への新規加入や支部総会日程（予定表）等の文書を同封してもらいたい、との意見があった。また、校友会活動への参加意識（新規加入及び総会や行事への参加の考え）について、本部としてアンケート（統一した書式や質問内容）

を作り、全校友に調査していただく。集計・分析は支部で行い、その上で本部に送り、本部は全体を集約・分析し一年位かけて対策を練ってはどうかとの提案もあった。

（2）ホームページの活用については、支部のホームページはお金と労力が大変。立ち上げも大変だが、更新費用等の固定費が重大である。いたずら書き込みも発生しており閉鎖している支部もある。本部・大学でサーバーを活用してもらえないか検討して欲しい、との要望があった。

（3）本部行事への参加では、ゴルフ大会は待ち時間が長いとの苦情があり、本部役員より解消されることになっている旨の

継承に向けての試みとしている、との報告があった。

（3）その他、個人情報保護法の関係で、eメール、案内、返信の記入項目などについて、慎重に取り組んでいる。若手から「参加して何かメリットがあるのか？」と問われるが「同窓の縁という素晴らしいメリット、人間関係の無限の進展がある」と答えて賛同を得るようにしている、などの意見が出された。

いづれにしても、一人ひとりへの地道な「声かけ」や「フォロー」が成果をもたらすことを再認識した。

若手会員にはeメールで連絡 社会貢献のための業界毎の団体を

第2分科会（2班）



次世代への継承、参加者の増

加、組織の充実・発展策につき討議し、主に次のような提案・報告があった。

（1）地域支部役員からは、支部会報に年間行事を掲載して参加できるように予定してもらう。通じて校友同士の交流を深めている。支部を四ブロックに分け、ブロック毎に年一回の懇親会を開催、その集大成として総会を開く。ブロック毎に若い人を幹事に登用して世代交代を進めている。会員への連絡方法はeメールかFAXが安上がりで、若い人はeメールの方がなじみ易い。会員の個人的な趣味の会・発表会などを他の会員に知らせている、などの意見があった。

（2）職域会役員からは、上司がリーダーシップ持つて活動することが大切。職場内で学部毎や年次毎のリーダーが必要。会長の任期を限定して、会の活性化を図っている。業界のライバル社同士の集まりだが、チャリティバザールなどで社会に貢献など。

（3）その他、学部同窓会の組織をもっと増やすようにして欲しい。クラブOB会などの組織を積極的に承認するようにして欲しい。仕事を通じて社会に貢献するという意味において業界

回答があった。スプリングフェスティバルは、各組織ともより一層の参加に努めることを確認。

（4）その他、総会運営のチェ等、数々の具体例で活発に意見交換され、参加者全員が各支部の運営に活用していくことを確認した。

大学と地域の橋渡しで成果

幹事会員の活動で参加者も増

第1分科会（2班）

実践を踏まえた傾聴すべき支部の活動と意見要望が熱く語られ校友会活動のあるべき姿の手がかりが得られた。

（1）遠隔地支部からは、物産展など本部の行事を利用して支部の人が参加できる方式を導入すべき、地方支部からも常議員や代議員をもっと選出してほしい、支部報発行に際し関大通信など大学の情報を事前に入手さ



ごとの団体を作る（校友会本部指導のもと推進して欲しい）、などの要望が出された。

感想として、多くの組織が試行錯誤しながらも、役員の方々の熱意と地道な努力があれば、道は開けてくるものと強く感じた。

地区毎に支部対抗ゴルフ大会

他業種職域会と合同勉強会も

第3分科会

（1）地域支部では、近隣支部総会への相互出席に留まらず、地区毎に支部対抗ゴルフ大会や親睦事業を合同で開催し、連携を深めている。四国は五支部が年一回ゴルフコンペを開催。以前は前日に幹事が宿泊し深い交流が出来たが、最近は高速道路網が出来て日帰りが可能になった。九州でも山口・広島も含めた支部対抗ゴルフ大会を年一回開催。ゴルフ大会の晩は、連合総会を開催して種々の課題を検討するとともに懇親会で親睦を深めている。河内八支部連合会では、年二回持ち回りで幹事を引き受けてゴルフ大会を開催。ボーリングは年一回、秋のみかん狩、葡萄狩や百人参加のすき焼きパーティなどを実施。案内は、代表幹事が各支部にいてゴ

せてほしい等の要望があり、地方こそ来県歓迎の意向が強く、スポーツ大会に「ガンバレ関大」の幟を立てて応援したり、入試説明会があれば支部長も同席させてほしい等、母校愛からする支援意欲が感ぜられた。

（2）近県支部では、代議員等で支部総会等に出席しない人は選出すべきでない。支部の各種行事を本部のホームページでもとり上げてほしい。また支部レベルではホームページ充実の力が不足しているため協力・指導を求める、などの意見があった。

（3）市役所等職域会では、採用減が収入減ともなり、地域支部との連携活動が縮小。また若年会員の参加意識減の防止のためには何らかの意識づけの要ありとの意見もあった。

（4）高大連携や学校インターシップを実現させた支部では、市・地域からも歓迎され、幹事会員の活動も活発で総会参加者も増加、新卒会員の参加も増えたとの報告や、各支部内の若手グリークラブの結成もほうこくされた。また他大学校友会との連携も話題にのぼった。

役員の手配りで参加を勧誘

若手には総会後に再フォロー

第2分科会（1班）

ルフ、ボーリング、新年会を行っている、支部長同士の電話連絡で開催されている集いもある。阪神地区でも十支部が年二回対抗ゴルフ大会開催。他、関大阪神会では伊丹、川西、宝塚支部長会で会話を進めており、互いの顔が見える様な交流を模索中。青年を中心にセミナーを開催予定で、講演内容はファイナンス・ヤルセミナー。



（2）職域会等では、関大法曹会と公認会計士関大会との勉強会を開催、次回は未定だが不動産鑑定士、司法書士との勉強会も検討中で、開催にはテーマ、幹事役等の準備に手間がかかるので小さいワーキングからはじめ、若手を幹事にして「新会社法について考える」をテーマに今秋に開催予定。

90団体250人が「校友ネットワーク」の構築に向けて」テーマに分科会

個人中心主義化や高度情報化といった新しい時代の流れの中で、校友が集う地域や職域などの組織が直面する課題と、それに積極的に対応している組織の事例報告がなされ活発な議論が行われた。

（1）組織の総会参加の勧誘のあり方では、役員に若手を起用し、若手から参加の声掛けを行って若手の参加意識を高めている。総会の案内状は役員約三十人が千七百人ほどの会員宅に手配りし、直接のコミュニケーションを心掛けて参加者の拡大を図っている。新卒者約五十人については支部長自ら招待状を届けに回り、多くの参加者を獲得できた、などが報告された。

（2）組織の次世代への継承については、平成卒の参加者について、総会当日はどうしても一人ひとりに十分なアシストができないため、総会開催後一週間以内に「楽しめましたか」「知り合いはできましたか」などと電話、Eメールでフォローする。また一ヶ月以内に平成卒の参加者と欠席ながらも参加意識のある返信をいただいたメンバーを招集し、「関大平成倶楽部」と称して食事会を行い、平成卒同士の親睦と継続参加（リピーター）を促進。組織の次世代への

第39代学長に河田悌一教授再選

河田悌一学長の任期満了に伴う関西大学学長選挙は、7月29日に行われた選挙会で、学長の河田悌一（かわた・ていいち）文学部教授が、他の二候補を抑えて第39代学長に再選され、7月31日の理事会で承認された。任期は10月1日から3年間。61歳。



河田教授は、昭和43年大阪外国語大学中国語学科卒業。大阪大学大学院で中国哲学を専攻し、45年文学研究科修士課程修了、47年同博士課程所定単位修得後退学し、和歌山大学経済学部助手に就任。50年助教授。61年4月本学文学部教授に着任された。その間、京大人文学部研究所で島田虔次教授の指導を受け、竹内実教授の主宰する共同研究にも参加。

昭和55年に米国エール大学、平成3年には在外研究員としてプリンストン大学で、ともに余英時教授のもとで清代思想史を研究された。主な著書に『中国近代思想と現代』『中国を見つめて』（ともに研文出版）、共訳書『フランス動工倫学の回想―中国共産党の一元流』（岩波新書）。新聞各紙に多くの中国論を発表している。東方学会、日本中国学会などに所属。

平成5年4月から4年間国際交流センター所長。10年10月から2年間文学部長。13年4月に副学長（共通教育担当）。13年10月に学長に就任。その間、文部科学省大学設置・学校法人審議会委員（学校法人分科会）、（財）大学基準協会理事などとして活躍する一方、新学部創設、学部再編、社会連携の拡大などと取り組んできた。

「学長再選にあたって」

河田 悌一

ことしの夏は猛暑。そして、ことのほか残暑が厳しかった。その暑さのなかを、教育後援会の地方教育懇談会のために、いくつかの県庁所在地を訪れた。高松、静岡、松江、広島、金沢など――。

その間、強烈に印象づけられたのは、それぞれの地において、関西大学の存在感と知名度が、以前に増して高まってきているということだ。

それは、昨年の『週刊東洋経済』（十月十七日号）の特集「本当に強い大学」として、慶応義塾大学と並んで総合第三位にランクインしたこと、ごく最近の『サンデー毎日』（七月二十三日号）で、「今年、創立一二〇周年を迎える関西大学も、大きな改革を進めている」として、「浮かぶ大学」の一つに大きく取り上げられたこと、などによるといえるだろう。

また、サッカー部の三十九年ぶりの全国優勝、高橋大輔選手、織田信成選手の活躍やアイスアリーナの完成など、いわゆる「スポーツ関大」の復活も、大きく関係している。が、な

よりも、学生諸君が教職員の薫陶をうけ関大で学ぶことによつて、専門的知識を習得し、人間的に大きく成長すると同時に、人びとから信頼される、品格ある人材として社会に旅立つてくれていることを、ご父母の方々が身をもって実感しておられることに因っている。

光陰矢のごとく、「関大ルネサンス」を旗印に、私が第三十八代学長になって、はや三年の歳月が過ぎ去った。就任時、学外の方から「沈滞ムード」といわれていた関西大学が上にのべたような状況に変化、好転したのは、ひとえに関西大学の構成員すべての方々の支持、支援、協力のお蔭である。

現在、日本の四年制私立大学は、全部で五五六校。統計によると、少子化、国立大学の法人化、自由競争、第三者評価などによつて、その五五〇校の四〇・四％、すなわち二二二校が、収容定員に満たないという大変な状況におかれている。

しかしながら、ありがたいことに、本年春、我が関西大学を受験してくれた志願者の数は、

なんと八六、五一六名の多数であった。その数は、四年制私立大学のなかで、第四番目だった。だが、この志願者数を維持することは、容易ではない。二十一世紀という「知の時代」において、我が関大が良質の教育をおこない、優れた研究成果を挙げ、それらを地域、国家、世界に貢献することが、必要とされるのだ。

そのためには、まず来年四月に創設する新学部、政策創造学部を立派に立ち上げ、理工系の三学部（システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部）を充実させて、多くの受験生を集めるべく全力を出さねばならない、と考えている。

また、本年秋の創立一二〇周年記念事業を、学生諸君、教職員、教育後援会、校友会の四位一体の協力によって成し遂げるとともに、今後さらに、関西大学の歴史と伝統を継承しつつ時代の要請に応える改革（新学部創設、学部再編、大学院の改革と充実、スポーツの発展など）を進めていくことが必要だ。

そんなことを考えながら、「夏と秋と 行きかふ空の かよひ ぢは かたへ涼しき 風や吹くらん」という和歌を、想起している。

政策創造学部は来年4月の開設に向けて 着実に準備を進めております

校友の皆さんには、関西大学では十三年ぶりの新学部である政策創造学部の設置構想について、機関紙『関大』五三三号（二〇〇六年五月発行）の誌面にてお知らせしてまいりました。その後、二〇〇七（平成十九）年四月の開設に向けて着実に準備を進めております。今回は、とりわけ学部広報活動などを中心にお知らせしたいと思います。

政策創造学部の設置認可申請については、去る六月に文部科学省に届出をいたしました。この機関紙が発行される九月には、



文部科学省のホームページや新聞の紙面などで、政策創造学部が来年四月に開設の運びとなった旨のニュースを皆さんもご存知かと思います。さらに九月下旬には、社会や地歴・公民の教員免許状を取得するための課程申請を行う予定です。

広報活動としては、本学入試センターとの協力により予備校や高等学校を中心に入試広報活動を行うとともに、政策創造学部就任予定の教員も入試説明会に出席して受験生からの熱心な相談に応じたり、高等学校等に東奔西走しています。

マス・メディアにおいても、もうすでにご覧いただいたかも知れませんが、新聞や冊子に広告を掲載するとともに学部パンフレットを作成して学部存在をアピールしています。

さらには、百二十周年記念式典を終えた十二月には、国内外の著名人をお招きして、政策創造学部の開設記念シンポジウムを行う予定

です。

また、この七月には政策創造学部のホームページ(<http://www.kansai-u.ac.jp/Fc-policy>)をリニューアルし、内容を充実いたしました。その後、随時最新情報を掲出しており、学部の知名度が高まるにつれ、順調にアクセス数も増えています。

このホームページでは、着任予定の教員でテレビ・ラジオや政府の公職等でご活躍中の白石真澄先生（本学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了）やセネガルのダカール大学大学院を修了後、国連関連機関等の研究員を経て着任されるムスタファ・カマル・ゲイ先生からのメッセージ等も掲載しています。また、客員教授としてアメリカの著名な政治学者のフランシス・フクヤマ氏や企業・地方公共団体の長をお招きする予定です。その他にも、カリキュラムや教員の紹介をはじめ「コラム」や「何が学べるか？」等の受験生が興味を持ちやすい読み物も取り入れ、政策学とは何か、政策創造学部とはどんな学部かをより知ってもらえるような構成になっています。これから更新

していきますので、ぜひ一度ご覧ください。このホームページには、前掲のアドレスのほかに関西大学ホームページのトップからアクセスができます。

学舎についても、現在、法学部・文学部の授業を主に行っている第一学舎に新たに五号館（六階建 約九、五〇〇㎡）を建設しており、来年三月竣工の予定です。政策創造学部の授業はこの五号館をメインとして新たな時代のニーズに対応した教育をめざしており、情報処理施設や最新の映像配信システム等を備えた教室を備えています。また、学舎の竣工とあいまって周辺エリアの整備が行われます。このエリアは、阪急千里山駅からの距離も近く、学生の通学経路が変わることも予想されますので、関大前駅から通学してくる学生の正門に対して、千里山駅方面からの関西大学へのアクセスにふさわしいものを整備する予定です。

教育内容については、孝忠延夫学部長予定者が寄稿された五三三号の記事に詳述しておりますが、広い知識と課題の発見・解決する能力を養うことに重点をおきます。そのため、政策科学を中心に、法学、政治学、経済学、経営学などの学問分野を横断的（学際的）に学習する一方で、三つの専修（「国際アジア」、「組織・政策」、「地域・都市」）の中から興味ある分野（専修）を選択することで、さまざまな領域において、主体性を持って問題解決できる「真の実践的政策立案力」の養成をめざしており、そのための授業内容についても、鋭意検討を行っております。

政策創造学部の開設により、十学部体制となる関西大学の百二十一年目のスタートにご注目いただきますよう、よろしくお願ひします。

（政策創造学部設置準備事務局 事務長 池田 繁之）

現代GPに「総合大学における標準型
キャリア教育の展開―学生二人ひとりの勤労観・
職業観を育む関西大学キャリア教育プログラム
（KICEP）―」が採択されました

取組の概要

総合大学におけるキャリア教育は、早期より学生の意識を啓

発し、キャリアデザイン（将来設計）を促進することが肝要です。本取組は、このコンセプト

に立脚して、教養教育を中心とした正課教育カリキュラムとキャリアセンターの正課外教育プログラムを融合した現行の「キャリア支援・段階システム（VSTEP PROCEEDURE）」を発展させ、在学生のみならず、小中高等学校教員と社会人（卒業生、本学教職員）をも対象とする「関西大学キャリア教育プログラム（K-CCEP）」を構築し、学生一人ひとりの勤労観・職業観の育成、ならびに自律型社会人の育成を目指す全学的取組です。

キャリアアカウンセリング・サービスを支援システムの各STEPと連動させつつ、学校・企業・自治体等との連携のもと、生涯学習・生涯キャリア発達の視点に立って、キャリア教育を「大学の前に・大学とともに・大学の後に」展開しようとする画期的取組です。

取組の特徴

学校・企業・自治体等との連携のもとに、生涯学習あるいは生涯キャリア発達の視点に立って、キャリア教育を「大学の前に・大学とともに・大学の後に」展開しようとする点が本取組の大きな特徴です。

まず「大学の前に」の部分ですが、昨年より小中高等学校教

員を対象に「キャリア教育」研修を実施しています。ご承知のように、現在、小中高等学校でキャリア教育が展開されており、小中高の連携は図られつつありますが、大学との連携は不十分です。研修を通してキャリア教育の点からも高大連携を図るとともに、本学のキャリア教育プログラムを一層充実させたいと考えています。「大学とともに」の部分については、在学生を対象としたキャリア教育が中心となることはもちろんですが、これに加えて、今年から教職員を対象としたキャリア研修を予定しています。また昨年より、キャリアセンター内に「卒業生就業支援室」を設け、民間の人材紹介企業と提携して、卒業生の就業支援を行っています。これが「大学の後に」に相当する部分です。いかに充実したキャリア教育を行っても、就職後に迷いが生じることはあり得ることです。フリーターやニートの状態に陥ることを避け、「失業なき労働移動」をめざして卒業生のキャリア形成支援に積極的に関わることは、いわゆるschool-leavetakeの移行を支援する一環であり、大学の社会的責任であるとも認識しています。

（キャリアセンター次長 吉原健二）

関西大学第一部学友会費の取り扱いについて

第一部学友会費に関する経緯

全学代表機関である関西大学第一部学友会（以下「学友会」という。）は、学園紛争の煽りを受け、昭和四十四年頃から事実上崩壊し、再建の見通しがまったく立たないまま今日に至っています。学友会費に関しましては、当時の学友会中央執行委員会事務引継者であった学生から大学あてに、昭和四十六年三月二十五日付で、「次期学友会中央執行委員会若しくはそれに代わる学友会を代表する機関が成立するまでの間、関西大学第一部学友会名誉会長である学長に学友会費を保管願いたい」旨の願書が提出され、爾来、歴代の学長名義で学友会費を管理してきました。この間、大学がそれまで代理徴収していた学友会費を、昭和四十六年度後期から取り止めることといたしました。

このような経緯を経て、学友会費の預かり資産は当初（昭和

和四十六年九月三十日現在）の八〇、三四五、一一一円に預金利息が加わり、二六六、九一〇、三六九円にもなりました。

学長名義で学友会費を管理することの問題点

昭和四十六年以来、学長名義で学友会費を管理している状態が続いている限り、資産の有効活用を図ることができません。また、二億六千万円を超える多額の預かり資産を大学会計の枠外（薄外）で長期間放置しておくことは、財産管理上も好ましいことではありません。加えて、三十数年間も学友会もしくはそれに代わる全学代表機関が再建されることなく、今後、再建に向けた動きも期待出来ない状況にあるといっても過言ではありません。

長年の懸案であった本案件を解決するため、法律および会計上の視点から専門家の意見を徴するとともに、他大学の事例等も参考に種々検討の結果、財産管理上の措置として、法人の一般会計に雑収入として組み込むこととし、その用途については、平成十八年一月十二日開催の理事会において、学内関係機関での検討結果を踏まえ、学友会費の本来の使途目的である学生の福利厚生事業のために活用することが適切であるとの結論に至りました。具体的には、平成十七年度決算で第三号基本金の「奨学基金」に、学友会費の二六六、九一〇、三六九円を上乗せして積み増すことといたしました。

以上、学友会費の取り扱いに関しましてご報告いたしますとともに、この間の事情をご賢察のうえ、大学の措置をご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

学校法人 関西大学

大学への措置
このような状況を踏まえ、

アイスアリーナ7月13日に竣工式 五輪選手らのアイスショーで完成祝う

全国の大学で初の国際競技規格のスケートリンク「関西大学アイスアリーナ」が、高槻キャンパスに完成。七月十三日、竣工式とオープニングセレモニーが盛大に行われた。

竣工式には大学・校友会・教育後援会関係者をはじめ、体育OB会、マスコミ関係者など約二百人が出席。午前十時二十分、アイスアリーナ入口で森本理事長、河田学長、一軸校友会会長はじめアイススケート部OB会長、アイスホッケー部OB会長らによるテープカットで始まり、十時半からはリンク内に設営された祭壇で神式により竣工式が厳粛に執り行われた。



創立百二十周年記念事業の一つとして行われた「オープニングセレモニー」は午後二時、学歌斉唱で開会。リンク内に設けられた演台で理事長の式辞、学長挨拶、来賓祝辞の後、佐藤信夫・久美子夫妻らも加わってくす玉開きが行われ、リンク中央に「関西大学から世界へ」の垂れ幕が下がる、約

五百人の観客から大きな拍手が沸き起こった。

アイスショーは、関西ジュニアスケーターのグルーブスケーティングで開演。各種大会で上位入賞の小中学生によるエキシビジョンの後、トリノ五輪出場の高橋大輔君（文3）、世界選手権出場の織田信成君（文2）ほか、同じくトリノ五輪に出場の村主章枝選手、安藤美姫選手ら日本のトップスケーター十人が華やかに演技を繰り広げ、アイスアリーナの完成と創立百二十



十周年を祝賀した。最後に同志社大学とのアイスホッケー交流戦が行われ、迫力ある試合を展開、1-1で引き分けた。

商学部百周年記念事業 KUBIC入賞者決まる

関西大学商学部では、創設百周年記念事業として、関西大学ビジネスプラン・コンペティション KUBIC (Kansai University Biz Plan Competition: キュービック)「学生の力」を開催した。昨年十二月より約三ヶ月間、大学生や高校生からビジネスプランを募集した結果、全国から計八四八件の応募があった。六月二十四日の本選会では、第一次、第二次審査を通過した高校の部（五組）、大学の部（五組）の出場者がプレゼンテーションを行ない、次の各賞が決定した。

〈高校の部〉
優勝 兵庫県立三木北高校 水野 花さん他 計三名（ECOPの皆さん）
準優勝 京都すばる高校 外真弓さん
学校賞 京都すばる高校
〈大学の部〉
優勝 関西大学商学部 廣山みどりさん
準優勝 関西大学商学部 呼子真悟さん
さらにKUBICでは、関西を拠点とする協賛企業五社が提



大学の部 優勝（右）準優勝の2人

示したテーマに関するビジネスプランも募集した。各企業のテーマに応募された最優秀プランには企業賞が授与された。
江崎グリコ賞 天王寺商業高校 村岡麻衣子さん
江崎グリコ賞 小野高校 帆足大輔さん
小林製薬賞 神戸大学 森川弘章さん他（計九名）
サントリー賞 関西大学商学部 青山幸之助さん他（計二名）
日本ハム賞 該当なし
マンダム賞 関西大学商学部 奥田万喜子さん
当日は発表も運営も学生スタッフ中心に行われ、未来を切り拓く学生たちの力を感じさせるイベントとなった。

（商学部助教授 川上智子）

初の海外での研究会を実施

関西大学科学技術振興会

関西大学科学技術振興会（寺内俊太郎会長）では、創立四十周年記念事業の一貫として、アジア地域の大学および研究機関の訪問と会員等の現地企業の見学を企画。八月四日から八日まで四泊五日の日程で、中国・上海およびタイ王国・バンコクで、大学、研究機関の訪問および三社の企業見学を実施しました。

参加者は、大学院工学研究科長（工学部長）ら研究員（工学部教授等）七人を含め十三人と、企業会員等十二人の合計二十五人でした。

タイ王国の国立チュラロンコン大学、国立金属材料研究所（MT EC）への訪問と大学間交流シンポジウムの開催

チュラロンコン大学は、本学社会連携推進本部特別顧問・



戸倉清一元工学部教授、田村裕工学部教授が長期に亘って研究等の交流を続けられている関係で訪問と同大学石油化学工学科との大学間交流シンポジウムの開催が実現しました。シンポジウムは、「ミニシンポジウム」として「製造技術と環境問題」をテーマに、両大学、金属材料研究所および参加企業の研究者による講演が行われました。

同大学は、一九一七年にラマ五世チュラロンコン王が創立したタイ王国最古の大学で、十九の大学院研究科と十六の専門研究機関や専門学校を有するタイ王国の最高学府です。

シンポジウムは八月七日午後

に開催され、開会セレモニーの後、金属部品製造技術である金属射出成形（MIM）プロセスについて、金属粉末とともにMIMプロセスを支えるバインダーを取り上げて、タイ特産のタピオカ澱粉をバインダーとする可能性について、日本側から田村裕工学部教授、土井研児大阪冶金興業（株）研究員が、タイ側からM・Anchor metal金属材料研究所研究員、R・Ratanaチュラロンコン大学助

教授および同助教授が指導する大学院生が講演するとともに、チュラロンコン大学石油化学工学科講堂を埋めた百人を超える研究者、大学院生および参加企業との間で、活発な討論が展開されました。

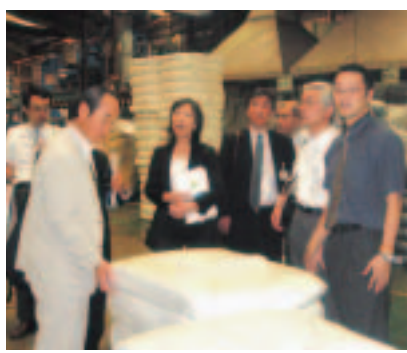
これに先立つ当日午前の金属材料研究所の訪問では、B・P arit ud所長の同席の下で説明会が開催され、C・P r a s e r t研究員らから説明を受けた後、実験設備を見学しました。その中には、大阪冶金興業（株）を主幹事とする日本の企業、大学からなる共同研究コンソーシアム（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業）によってMIMプロセスを構成する装置等が多く納入されていた。

このシンポジウムと訪問が契機となつて、かねてより進めていた参加企業とチュラロンコン大学および関西大学の三者で共同研究を進めることが具体化しました。さらに、参加企業と金属材料研究所は、シンポジウムの講演テーマに関してMIMプロセスの高度化技術として展開することで合意しました。これらはグローバルな産学官連携として今後の成果が期待されま



す。上海、バンコクに進出している振興会会員等の現地企業3社の見学と現地で活躍する校友との交流会社見学として、上海では八月四日に振興会会員企業の紀和マシナリー（株）の現地法人「紀和機械制造有限公司」（会長・紀和隆振興会副会長Ⅱ昭39学工機）を訪問しました。二〇〇五年五月に会社を設立し、十一月から本格的に生産を開始、工作機械（マシニングセンター・ドリリングセンター・直立ボール盤）の設計から部品加工、そして組立まで一環作業を行い、完成品に至るまで製作しています。

当日は上海滞在中の北嶋弘一工学部教授（昭44院修機）も合流して、現地責任者の黄文力取締役から事業概要について説明があった後、生産現場を視察しました。



八月七日には、根来産業（株）の現地法人「タイ・ネゴロ」（社長・根来功Ⅱ昭35学一経）を訪問しました。一九八三年の設立で、二十数年前のオイルショック

結婚相談

結婚相談の（株）エムロード
大阪・神戸・京都、豊富な会員数と「成婚率の高さがキメテ!!」が大評判!!

「成婚率の高さがキメテ!!」が評判の（株）エムロード大阪・神戸・京都が大好評!! お見合いパーティーはレギュラー開催をし、ご好評を得ています。〔ザ・リッツカールトン大阪 1万円/食事・飲物付き〕

「会社と家の往復で、出会いがない」。「知人に頼むのもなんとなく気兼ねする...」。そんな方に素敵な出逢いをサポート!! 一般・ドクター・再婚中高年など各コース充実。関西中心に自社会員のみで構成、専任アドバイザーによる親身なお世話が評判です。

★エムロードはここが違う!! ①質の高い会員制②専任アドバイザーによるマンツーマン制③コンピューターまかせでない自分選考④一流ホテルでのパーティーでの出逢い⑤期限なくまとまるまでお世話⑥お見合い料・月会費無のリーズナブルな定額コース有。



本社：大阪市北区小松原町3-3 OSビル10F
京都市下京区四条通高倉西入立売西町82 京都恒和ビル6F
神戸市中央区御幸通り8-1-6 神戸国際会館19F

お問い合わせセンター 大阪・神戸・京都
0120-676-231

www.m-road.co.jp ●営業時間/10:00~19:00 ●年中無休
m-road.info



株式会社エムロード® Marriage Road

クを契機に、ペットボトルやビデオテープといった素材に注目し、それをリサイクルすることによりカーペットを生産する方式で、タイ王国のほかにも大連にも拠点を置いています。そして、家庭用カーペットのトップメーカーとして、今や折り畳み式カーペットの市場占有率五五%を達成しています。

当日は、今回の企画にご参加いただいた根来功社長並びに現地責任者の根来宣幸取締役から事業概要について説明があった後、ペットボトルを砕いて溶かして加工したポリエステルペレットからカーペットが製造される生産現場を見学しました。

今回見学した企業三社は、何れも都心部から車で一時間程度の郊外の整備された工業団地に工場がありました。それぞれの生産現場では現地の若い人々の

伊豆で無料法律相談開催

関西大学法律相談所（所長 千藤洋三法学部教授）は、八月二十五日から二十七日にかけて、昨年夏の北近畿地方に続き、静岡県東部の伊豆の国市と伊豆市で市民のための無料法律相談を開催した。

今回の移動法律相談には、所長である千藤洋三教授、高森八四郎名誉教授に参加していただき、OB弁護士、学生ら総勢三十五人で相談にあたった。『量』より『質』を重視するという前年度の方針を受け継いで、これまで訪れたことのない地方での法律問題の解決に奉仕するとともに、所員の学力向上を図る、

活躍が目立っており、現地社会に着実に根を下ろしていることが実感されました。

（先端科学技術推進機構）

をテーマに、リーガルクリニックを実践した。

あまり馴染みのない地域であっただけに、支部長の大石祐介氏（昭55学一商）ほか校友会静岡支部の方々によるひとかたなりがたく、無事に法律相談を執り行い、また、新聞社やテレビ局の取材を受けることができた。

両市の相談件数は合わせて五十一件にのぼり、そのうち親族相続問題が多数を占め、金銭関係がそれに次ぐものであった。親族相続については、兄弟姉妹が多いという風土による特徴に由来するといえる



だろうか。

昨年引き続き今回も、相談終了後の検討会のために多くの時間を確保していたが、それでも時間が不足するほど相談件数が多かった。そのため、夜間を検討会の時間にあて、教授やOBにご指導いただいた。このような検討会を設けることにより「学生が主体として相談にあたり、生きた法律を学ぶ」とともに社会に貢献する」という学生による無料法律相談の理念を実現し得たといえる法律相談となった。

なお、十一月二十六日（日）には恒例となった大東市役所での無料法律相談を開催する予定である。（関西大学法律相談所）

シンクロで飯塚がデュエツト優勝

浦部は百M・二百M自由形でV2

水上競技部の飯塚叔子（工4）

は、8月13日に静岡県富士水泳場で行われた日本シンクロチャレンジカップ二〇〇六のデュエツトで優勝、チームでも銀メダルに輝いた。

また、浦部紀衣（文2）は、9月1〜3日に東京辰巳国際水泳場で開催された第82回日本学生水泳競技大会の女子百M自由形は56秒29、二百M自由形は2分0秒36の記録で優勝、それぞれV2を達成した。

レスリング部の前原愛
世界ジュニア選手権で優勝

レスリング部の前原愛（社2）は、8月31日〜9月1日にグアテマラ共和国・グアテマラシティで開催された二〇〇六レスリング世界ジュニア選手権大会の女子51kg級で優勝、日本が生んだ22人目の世界ジュニアチャンピオンとなった。

入局してから、仮釈放
審理事件、保護観察事
件を長く経験し、調査
連絡課長や観察課長を
経て、現職の所長に着
任しました。
ところで、玉柏さん
の生き方のルーツはど

み なさんは『更生保護』について、どんなことを
知っていますか。

『更生保護』とは、犯罪や非行をした人々の、社会
への円滑な立ち直りを助け、誰もが住みやすく、明る
い社会づくりを目指す仕事のこと。大きく分けると、
犯罪や非行をした人への支援や指導、『社会を明るく
する運動』のような犯罪予防活動があります。

これらの仕事は、全国に八ヶ所ある地方更生保護委
員会と五〇ヶ所ある保護観察所、そして地域の民間ボ
ランティアや施設・団体に支えられており、直接の業
務に携わるのが、保護観察官や保護司と呼ばれる人た
ちです。

また、女性の立場から、地域の犯罪予防や非行をし
た人への更生支援を行う『更生保護女性会』、兄や姉
のような立場で接し、非行防止活動を行う青年ボラン
ティア団体『BBS会』、更生保護
対象者を積極的に
雇用する『協力雇
用主』などもあり
ます。



第56回「社会を明るくする運動」
広報用ポスター

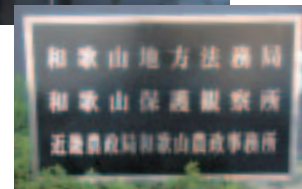
人の尊厳を守り、
自主性を尊重する社会を作りたい

こ んもりとした緑に囲まれた、和歌山城の近くに
ある和歌山地方合同庁舎。

そこに玉柏さんが所長を務める和歌山保護観察所が
あります。玉柏さんは大学卒業後、法務省の保護局に



和歌山地方合同庁舎



こにあるのでしょうか。
多感な高校時代、社会の矛盾ばかりが目につき、社
会を変えていこうと仲間たちと活動を始めました。し
かし、大学受験を考えたとき、社会変革を目指そうに
も日本の法律をよく知らないことに気付きます。そこ
で、基本になる法律を勉強するため、関大法学部に入
学。
当時は学生運動が盛んな時代でした。それを目の当
たりにして、自分たち学生の思想は幼く、相反して日
本の社会は成熟していたこと、既に経済は安定しはじ
め、国民の生活水準を上げるターニングポイントに來
ていたことを徐々に実感していきます。

社会変革を目指すのではなく「人の尊厳を守り、自



平成18年の「社会を明るくする運動」をPRする玉柏さん

主性を尊重する社会を作りたい」。

そのとき思い出したのが、学生時代に知った『少年
のまち』。社会に適応できない少年たちが集まって暮
らすまちが、かつてアメリカにあったそうです。自給
自足と、独自のルールが確立した文字通りの少年によ
る少年のためのまちでした。玉柏さんは、そんなまち
を自分でも作りたい、また暮らしてみたいと思いまし
た。

こうして、犯罪や非行をした人々の円滑な立ち直り
を助け、誰もが住みやすい社会づくりを支援する『更
生保護』の仕事に出会い、目指すようになったのです。

保護観察官。
その多忙な日々と心のふれあい

名 古屋の保護観察所では女性初の保護観察官とし
て、活躍していた玉柏さん。忙しいときには、
一人で何と四〇〇件の事件を担当したこともありま
した。保護観察中の人への指導や面接、受け入れ体制
を整える環境調整といった業務まで、バリバリとこな
す毎日。これが、入局二年目のことですから驚きです。
その後も、平均三〇〇件程度を担当していたそう。

今でこそ、随分と女性の保護観察官も増えてきまし
たが、玉柏さんの入局当時はまだ圧倒的に男性が多勢。
当時のことについて聞いてみると「仕事内容や待遇に
男女差は全くありませんでした。保護観察官は、色ん
な人生を歩んで来た人と接するため、精神的、肉体的

にダウンする人も中にはいます。でも、女性の方がタ
フなこともありますよ」。

また、奈良の少年刑務所を担当したときのこと。「女
性では、私が初めての担当官でした。それまではずつ
と、男性ばかりの施設だったでしょう、だから女性用
トイレがない。そこで私一人のためにトイレを三つも
作ってくれたんです。せつかくですから、行くたびに
毎回使うトイレを変えました」と、思い出深いエビソ
ードを話してくれました。

大阪市の西成区を担当していた頃には、玉柏さんと
の面接前は、あいりんセンターの五〇円シャワーを浴
び、身体をきれいにしてから来てくれる人や、勤務先
が変わると大型トラックで駆けつけ激励してくれる人
また、無期懲役で仮釈放中の人からは、電話で励まし
の言葉をもらったこともありました。

「つらい思いをした人たちだから、人への思いやりを
持ってくれるのですね」。

所長となった今、保護観察官としての第一線での多
忙な日々をそう振り返ります。

求められるのは、広い視野と柔軟性

世 間一般の目からは、少年による犯罪が多発して
いるという印象がありますが、玉柏さんに聞くと、
少年の犯罪数自体は減少しているそうです。しか
し、それは非行が減っているのではなく、少子化の影
響。分母の減少に伴い分子も減っているということな



所長室デスクにて

ので、数は減っても割合は減っていません。

そんな状況の中、「自分たちのまちは、自分たちが
守ろう」と、世間の人々の意識が変わりつつあり、地
域レベルでのさまざまな取り組みが活発になってきて
います。具体的には、学校行事に更生保護に関わるボ
ランティア団体や組織のメンバーが参加したり、お母
さんたちのミニ集会、昔遊びを一緒に楽しむ大人と子

どもの交流会などが開催されています。

このような活動を通し、近隣のコミュニケーション
が盛んになることで、子どもを育てる地域の力が強ま
ってくるのだと玉柏さんは言います。これらの社会的
な背景も含め、最後に保護観察官を目指す後輩たちへ
のメッセージをいただきました。

「私たち保護観察官に期待されるのは、保護観察中
の人が再犯しないよう支援することで国民を犯罪から
守ること。保護観察官は、本人やその家族にとって、
一番危機ともいえるある時期を共に過ごすわけです。
つまり、その人自身の人生、その人の家族の人生を二
人三脚で生きることなんです。そうすると、担当す
る一人ひとりに対し『同じ失敗をせず、今度こそ、幸
せになって欲しい』という思いが強くなります。

また、彼らのほとんどは、優しさもあり、感受性が
細やかです。保護観察官として、また、人が人として
どう接するべきかを考え、自分の適性を冷静に判断す
るためには、色んな社会を知る機会
を持ち、学識だけ
ではなく広い視野
と柔軟性、感性や
バランス感覚も養
って欲しいと思い
ます」。



プロフィール

玉柏 ちづる（たまかし ちづる）さん
和歌山保護観察所 所長

一九七〇年 法学部法律学科卒業後、法務省保護局に入局。
最初の配属先、名古屋保護観察所を皮切りに、近畿地方更生保
護委員会、大阪保護観察所堺支部では、初の女性保護観察官と
して平成七年まで事件担当の第一線で活躍。

平成八年から和歌山、奈良、神戸の保護観察所で調査連絡課長
として広報的な役割もこなし、その後、各所で観察課の課長職
を経験。平成十七年より和歌山保護観察所の所長を務める。
結婚は、関大同期生の玉柏明英氏と。一男一女の母。

「今度こそ、幸せになつて欲しい」

保護観察所 所長になつた今も変わらない思い

玉柏 ちづるさん

「強い関西大学」の構築に向けて

松岡	康弘	(神戸市)	森崎	鍾一	(名古屋市)
松木	昭	(東大阪市)	森田	富夫	(大阪府)
松重	享蔵	(堺市)		豊能郡	
松田	隆	(寝屋川市)	森脇	良夫	(枚方市)
松原	尚	(広島市)	八尾	圭信	(岡山市)
松本	晃	(堺市)	八木	俊雄	(奈良県)
松本	憲嗣	(豊中市)	安	俊郎	(茨城県)
松本	陽一	(札幌市)	安井	勝	(寝屋川市)
松森	利夫	(岡山市)	安川	智雄	(八尾市)
真鍋	正幸	(愛媛県)	安田	光幸	(京都市)
萬谷	穂	(山口県)	山上	景弘	(高松市)
三浦	尚	(大分市)	山浦	隆	(福岡県)
三浦	啓亨	(大分市)	山口	猛	(東大阪市)
三浦	隆夫	(神戸市)	山口	哲生	(西宮市)
三木	建夫	(尼崎市)	山崎日出夫		(和歌山市)
三砂	栄次	(宝塚市)	山崎	明	(伊丹市)
三品	夕次	(三重県)	山下傳四郎		(大阪市)
水口	聡	(富山県)	山科	修	(奈良県)
水野	茂樹	(松江市)	大和	福治	(和泉市)
南川	泰秀	(和歌山市)	山名	崇文	(加古川市)
南	真一	(富山県)	山中	昇	(福岡県)
南	宗二	(和泉市)	山根	修	(鳥取県)
南	英一	(堺市)	山野潤三郎		(神戸市)
南井	博昭	(石川県)	山本	一彦	(奈良県)
南尾	光宏	(大阪市)	山本	精三	(京都府)
南出	光徳	(横滨市)	山本	信雄	(福井市)
三村	雅弘	(和歌山市)	山本	正明	(八尾市)
宮川	伸次	(神戸市)	山本	盛保	(広島県)
宮木	喜彰	(滋賀県)	山本	康夫	(堺市)
宮本	司	(明石市)	湯川	和彦	(阪南市)
明珍	昭	(東大阪市)	湯口恵美子		(高松市)
明宗	尚代	(和泉市)	弓達耕二		(愛媛県)
村井	正道	(吹田市)	由良	雅之	(京都府)
村井	賢一	(寝屋川市)	横川	章	(福知山市)
村上	雅子	(茨木市)	横田喜久太		(豊中市)
村上	薫	(千葉県)	横田祐次郎		(大阪市)
村上	昇	(岡山県)	吉岡	正代	(柏原市)
村上	安德	(大阪市)	吉川	剛史	(西宮市)
村野	正規	(東大阪市)	吉武	秀雄	(福岡県)
森	正晴	(鳥取県)	吉田	周知	(明石市)
森	正晴	(神戸市)	吉田	賢治	(和歌山市)
森岡さつき	名古屋市		吉田	肇	(福井県)
森川	正彦	(神戸市)	芳野	康人	(松山市)
森口	雅文	(奈良県)	良本	成英	(神戸市)
森崎	昭夫	(京都市)	米倉	修一	(横浜市)
			和久田二郎		(箕面市)

小穴	大成	奈良県	片山	一英	（東大阪市）
近江	久則	（富山県）	桂	えり	（姫路市）
大森	博範	（神戸市）	桂	弘美	（姫路市）
大川	正信	（交野市）	金沢	勇	（堺市）
大國谷	正	（東京都）	金山	隆幸	（広島市）
大倉	晴輝	（尼崎市）	金島	卓志	（広島県）
大隅	廣晃	（大阪市）	金田	弘夫	（札幌市）
大谷	敏博	（姫路市）	甲	俊章	（加西市）
大谷	寛	（大阪市）	鎌田	裕之	（徳島市）
大塚	紘二	（和泉市）	上司	延明	（奈良市）
大槻	極	（福知山市）	亀田	拓道	（西宮市）
大西	福男	（加東市）	川上	義雄	（東大阪市）
大野	貞基	（山口県）	河崎	隆	（鳥取市）
大野	徹二	（富田林市）	川崎	郁夫	（宮崎市）
大場	恒男	（和歌山市）	川西	政雄	（寝屋川市）
大深	トモ	（山口県）	河原	光雄	（神戸市）
大森	哲男	（岡山県）	河俣	次男	（枚方市）
大谷内	秀樹	（石川県）	川村	憲市	（大阪市）
岡	武	（香川県）	菊本	史	（熊本市）
岡田	憲三	（広島県）	岸	幸雄	（交野市）
岡田	崇	（神戸市）	北沢	昌規	（東京都）
岡田	武彦	（河内長野市）	北崎	俊司	（広島市）
岡村	竜也	（川西市）	北島	正則	（明石市）
岡本	剛	（東大阪市）	北野	明	（寝屋川市）
岡本	敏夫	（東京都）	橘高	知之	（埼玉県）
岡本	昇	（松江市）	衣川	和夫	（宝塚市）
岡本	博弘	（広島市）	木村	正	（神戸市）
岡本	勝弘	（奈良市）	木村	哲夫	（奈良市）
岡本	元伸	（尼崎市）	桐山	克巳	（堺市）
岡本	泰則	（大阪市）	榑田	耕作	（和歌山市）
緒方	弘	（大阪市）	國枝	隆三	（岐阜県）
小川	豊	（奈良市）	國嶋	経雄	（岐阜県）
小倉	実	（宝塚市）	國頭	進	（京都市）
尾澤	治夫	（富田林市）	久保	直樹	（岡山県）
尾澤	敦夫	（静岡県）	久保田	真弘	（高砂市）
織田	一郎	（枚方市）	熊田卯三	男	（大阪市）
越智	一臣	（西宮市）	熊田	正朗	（神戸市）
小野	毅	（和泉市）	倉光	良寿	（茨木市）
小野	嘉文	（大分県）	Ⅱ追加合計		
改田	季雄	（東京都）	栗田	貢	（東京都）
掛谷	貢	（広島県）	桑	増秀	（八尾市）
笠松	敏明	（千葉県）	下司美由紀	（吹田市）	
梶木	芳昭	（姫路市）	小島	裕隆	（神戸市）
梶田	賢次	（伊丹市）	小島	康男	（名古屋市）
梶原	郁郎	（高槻市）	小竹	啓之	（福井県）
片岡	弘	（神戸市）	小谷	雅彦	（岡山市）
片田	進	（門真市）	小坪	敏和	（大分県）

渡邊	一（愛媛県）
渡部	博基（松山市）
和田	昭次（熊本県）
（匿名）	四名
（匿名）	一名
追加合計	
◆二万六〇〇〇円	
前川	照雄（河内長野市）
追加合計	
◆一万五〇〇〇円	
岡橋	敏夫（茨木市）
寺嶋	孝（大阪市）
追加合計	
◆二万三四五円	
大谷	武徳（神戸市）
◆二万二三三円	
明石	善雄（徳島県）
◆二万二〇〇〇円	
石原	理好（奈良県）
小川	淳司（三重県）
番建二郎	（大阪府）
福島	成人（岡山県）
増田	慶弘（河内長野市）
追加合計	
◆二万一〇〇〇円	
吉田	隆彦（宝塚市）
◆二万三〇〇円	
北村信二郎	（西宮市）
◆二万二〇〇円	
佐武	正敏（箕面市）
◆二万五〇円	
藤田	武司（摂津市）
◆二万円	
青原	芳一（広島県）
赤穂	孝夫（姫路市）
芦田	信夫（松江市）
東	幸雄（富山市）
麻生	智栄（大阪市）
油	一彦（箕面市）
安満二千六	（高槻市）
荒木	俊光（川西市）
安野	基（神戸市）
飯嶋	義和（群馬県）
五十嵐	聡（吹田市）
伊木	厚雄（滋賀県）
居倉	正典（広島県）

鈴木	直登	(相生市)	須崎	均	(三重県)	杉本	文雄	(奈良県)	杉原	裕幸	(神戸市)	重里	繁行	(泉佐野市)	新谷	信夫	(和歌山県)	治部	野貞之	(茨木市)	白井	智	(大阪府)	庄司	浩樹	(愛知県)	庄司	恵美子	(池田市)	赤土	常吉	(京都市)	下野	洋一	(和歌山市)	下地	政昭	(沖繩県)	下田	一守	(長崎県)	島	保範	(堺市)	嶋	克己	(豊岡市)	柴田	光雄	(篠山市)	柴田	美佐男	(鹿儿島市)	鹿田	耕司	(長岡京市)	塩見	正人	(堺市)	塩見	雅人	(山梨県)	澤田	俊彦	(高知市)	佐野	耕平	(徳島市)	篠山	誠	(高宮町)	佐々木	俊二	(池田市)	佐々	正一	(愛知県)	坂本	尚	(枚方市)	阪野	悦子	(大阪市)	坂口	與志巳	(和泉市)	坂口	至宏	(大阪府)	坂口	喜三郎	(茨木市)	酒井	謙一	(京都府)	齋藤	光範	(高松市)	小柳	茂	(奈良市)	小松	義則	(奈良市)	小廣	正	(宝塚市)	小林	康三	(三重県)	小林	衛	(岡山市)	小林	正義	(岡山県)	小林	知明	(新潟県)	小林	敏克	(大阪府)
----	----	-------	----	---	-------	----	----	-------	----	----	-------	----	----	--------	----	----	--------	----	-----	-------	----	---	-------	----	----	-------	----	-----	-------	----	----	-------	----	----	--------	----	----	-------	----	----	-------	---	----	------	---	----	-------	----	----	-------	----	-----	--------	----	----	--------	----	----	------	----	----	-------	----	----	-------	----	----	-------	----	---	-------	-----	----	-------	----	----	-------	----	---	-------	----	----	-------	----	-----	-------	----	----	-------	----	-----	-------	----	----	-------	----	----	-------	----	---	-------	----	----	-------	----	---	-------	----	----	-------	----	---	-------	----	----	-------	----	----	-------	----	----	-------

池添	源和	(大阪府)
池田	一寿	(鳥取県)
池田	滋	(滋賀県)
池田	滋	(岡山県)
池田	正男	(西宮市)
池山	竜太郎	(池田市)
石居	恒二	(岡山県)
石井	清一郎	(西宮市)
石蔵	富広	(阪南市)
石原	文昭	(金沢市)
石原	優	(加古川市)
石橋	英一	(柏原市)
石本	昇	(広島県)
五十鈴	秀夫	(羽曳野市)
井田	清	(津市)
稲原	宏次郎	(神戸市)
井上	喬雄	(宝塚市)
射場	芳樹	(姫路市)
今井	博雄	(西宮市)
今井	滋雄	(神奈川県)
今里	勇	(大阪府)
今西	崇浩	(吹田市)
今村	充宏	(高石市)
今村	靖	(東京都)
入江	幸二	(岡山県)
入江	隆	(伊丹市)
入江	時雄	(丹波市)
岩坂	純一郎	(加古川市)
岩本	亮一	(尼崎市)
上垣	利幸	(宍粟市)
上田	卓二	(神戸市)
上野	義雄	(河内長野市)
上村	丈夫	(奈良県)
鵜飼	茂一	(姫路市)
内山	誠一	(佐賀県)
瓜生	征彦	(奈良県)
江崎	敏江	(大阪府)
大石	博	(神戸市)
大久保	文明	(箕面市)
大西	建夫	(三木市)
大西	達男	(豊中市)
大野	直樹	(奈良市)
大間知	徳四郎	(奈良市)
大村	陽一	(宝塚市)
大森	繁幸	(岡山県)
岡北	正司	(大阪府)
岡村	次朗	(大阪府)

塚本	中條	千葉	千野	千原	團圓	田守	田村	田村	玉谷	田部井	谷村	谷花	谷口	田中	田中	辰巳	多田	竹村	武田	竹田	武田	竹内	高岡	高倉	高谷	田上	宗我	仙石	関本	諏訪	角倉	鈴木	鈴木
英邦	重孝	雅弘	雄三	国夫	富久壯	邦彦	安榮	勝弘	安啓	健夫	昭	紀彦	弥生	敏彦	俊夫	和正	芳仁	達雄	勝	修次	良雄	智雄	泰弘	晋一	秀一	茂夫	章	博	道明	義彦	信守	秀人	
(東大阪市)	(高松市)	(宮城県)	(吹方市)	(箕面市)	(富田林市)	(相原市)	(徳島市)	(池田市)	(大阪市)	(古川市)	(枚方市)	(広島市)	(姫路市)	(広島市)	(大阪市)	(高槻市)	(奈良市)	(西宮市)	(大阪府)	(尼崎市)	(愛媛県)	(大阪市)	(宝塚市)	(福岡市)	(奈良市)	(京都府)	(高知県)	(西宮市)	(富山県)	(愛知県)	(八尾市)	(三好市)	(宝塚市)

奧田 公生(津市)
奧田 耕治(泉大津市)
奧田 耕三(滋賀県)
奥村 昌幸(大阪市)
小倉 洋章(神戸市)
小夫孝之助(高松市)
加来 真一(豊中市)
鹿毛 智恵(神戸市)
景山 保(鳥根県)
風間 眞一(千葉県)
勝見 真一(名古屋市)
門 俊恵(大阪市)
金川 勲(河内長野市)
金沢 富雄(堺市)
金光 嘉則(岡山市)
金谷 信助(奈良県)
金子奈歩美(茨木市)
金田 英夫(吹田市)
亀井喜久雄(三重県)
萱野 恵造(大阪市)
川崎 惇(福岡県)
川島 哲男(京都市)
川瀬 明宏(岐阜県)
河田 陽子(山形市)
川野 幸司(徳島市)
河野 伸一(大阪市)
川本 克行(大阪市)
北尾 正矩(堺市)
北側 秀雄(堺市)
北野 光一(摂津市)
木野 文生(和歌山市)
木下 正昭(和歌山県)
金 美 然(横浜市)
草羽 昭義(藤井寺市)
楠井 正孝(奈良市)
葛上 登(真直市)
久保多加恵(茨木市)
栗山 覚(西宮市)
小泉 周造(東京都)
小縁 俊郎(福井市)
小島 勇(高松市)
小寺 京子(守口市)
小林 信幸(枚方市)
小六 護(加東市)
斎藤 輝彦(三重県)
斎藤 昌良(河内長野市)

[illegible]

檀原	玉井	谷口	田中	田中	田所	立田	竹中	竹中	竹下	宝内	高浜	十河	瀬尾	隅藏	鈴木	杉田	杉垣	菅沢	菅	上東	正本	正田	下田	嶋田	芝野	芝野	斯波	志野	重岡	三治	定兼	笹田	佐久間	作田	崎久保	堺	齊藤
正彦	義朗	晴彦	勝	愈二	慶二	宏	寛	等	正治	弘和	博敬	清博	幸雄	宏	章	輝樹	智美	弘行	清	百合子	将之	吉次	正文	芳彦	豊則	朝治郎	大幸	澄人	凡一	金行	大直	滋男	優	和彦	保禎輝	和也	静彦
(吹田市)	(交野市)	(大阪市)	(福岡県)	(豊中市)	(和泉市)	(吹田市)	(尼崎市)	(千葉市)	(伊丹市)	(大阪市)	(吹田市)	(高松市)	(広島県)	(大阪市)	(箕面市)	(奈良県)	(箕面市)	(福岡市)	(宝塚市)	(八尾市)	(大府市)	(神戸市)	(三田市)	(福岡県)	(河内長野市)	(泉佐野市)	(西宮市)	(交野市)	(愛媛県)	(神戸市)	(豊中市)	(高槻市)	(加古川市)	(大阪市)	(高松市)		

永井	長崎	長谷	長谷	柳樂	鍋島	南野	南部	新倉	新谷	西江	仁科彌壽夫	西原	西村	西村	西本	西山	西山	丹羽	額田	野入	野浦	野方	野崎	野尻	野田	野中	河	野村	野村	信原	野中	橋本	橋中	橋本	長谷	長谷川治雄	土師	畑	畑	八田	服部	濱口	濱田		
守章	泰樹	浩一	文雄	計	英昭	隆昭	正義	紀子	忠彦	利文	慶子	正人	弘人	孔邦	久	正容	正之	光行	和久	和郎	一生	文一郎	勝己	善勝	周悟	明	典宏	典宏	奈都代	啓三	明	隆雄	洋治	堅	茂	兵庫県	重隆	佑二	佑二	泰年	啓二	徹	孝昭		
広島県	島根県	豊中市	吹田市	鳥根県	大阪市	滋賀県	大阪市	神奈川県	岡山県	岡山県	埼玉県	静岡市	福岡県	福岡市	広島県	三重県	東大阪市	奈良市	千葉県	岐阜県	大阪市	佐賀市	大阪市	大阪市	和歌山市	広島県	神戸市	神戸市	山口市	山口県	神戸市	福岡県	福岡県	西宮市	西宮市	追加合計	兵庫県	堺市	京都市	京都市	宝塚市	滋賀県	福岡県	八尾市	神戸市

千川	泰男（八尾市）
辻本	忠（大阪府）
辻本	多紀（豊中市）
鶴田	真理子（東大阪市）
富永	一生（静岡県）
洞庭	護（東京都）
中島	嘉彦（大阪市）
仲田	道夫（大阪市）
中谷	幸治（新潟市）
中根	聡（三田市）
中野	悦夫（亀岡市）
中村	純一（札幌市）
中村	雅樹（石川県）
中山	和哉（尼崎市）
中山	政一（奈良県）
中山	善信（愛知県）
長田	麻紀（神戸市）
名村	博之（西宮市）
西尾	善孝（吹田市）
西岡	利子（堺市）
西口	敏夫（和泉市）
西出	成穂紀（和歌山県）
西村	憲三（川西市）
西村	尚雄（岸和田市）
西村	義規（愛知県）
西山	軍市（箕面市）
野尻	悦三（神戸市）
野村	健一（大阪府）
迫間	健（堺市）
橋元	覚（鹿児島市）
橋本	成夫（熊本県）
橋本	勝（池田市）
長谷川	宜洋（たつの市）
秦	和文（鳥根県）
羽生	和子（大阪市）
濱上	節子（守口市）
濱上	知之（守口市）
林	俊一（京都市）
原	喜久雄（奈良県）
原	正人（池田市）
原	幸英（奈良県）
東	善治（奈良市）
東	肇（藤井寺市）
樋口	勝規（大阪市）
樋口	伸夫（大阪市）
平野	勝司（大阪市）

[illegible]

で西宮の銘酒をお土産に家路へと帰られ、支部役員全員、暫し満足感に浸った。

（幹事長・木下利成）

（木下損保鑑定・木下利成）〇七九八―五三―四五一四）

「弦楽四重奏」鑑賞で至福の一時
伊丹支部総会アトラクションで



伊丹支部総会

伊丹支部（加藤拓支部長）の定期総会は、七月二十一日に伊丹シティホテルに校友三十人の出席を得て開催された。

第一部のアトラクションでは、伊丹シティフィルハーモニーの「弦楽四重奏」によるポピュラーなクラシックメドレーの演奏を鑑賞、校友、久々に至福の時を過ごすことが出来たのでは……。引き続き総会では、一番から三番まで学歌を斉唱、加藤支部長の挨拶に続き議事に入り、各議案はそれぞれ原案通り承認・可決された。とりわけ議事では、支部長より百二十周年記念事業

資金として支部特別会計「積立金」より「三十万円」の寄付を行うことについての追加議案が出され、満場一致、拍手で承認された。

続く懇親会で、宴に入る前に、総会において可決された百二十周年記念事業資金としての寄付が、支部長から臨席を頂いていた寺内俊太郎校友会副会長へ贈呈された。

次いで寺内副会長の大学近況報告、そして「学歌を三番までフルで斉唱された支部はめずらしい。しかし、二番には“学の実化”という歌詞があり、その意味の解釈と、それに基づく“賞”が設けられているほど重要である」とユーモア溢れる挨拶があった。（詳しくは「関大」第五三四号・P12に掲載）

近隣八支部からの来賓紹介、衆議院議員の木挽司（こびき・つかさ）支部会員をはじめとする各界からの祝電披露、そして近隣支部を代表して南隆志猪名川支部幹事長の発声により、「清酒発祥の地“伊丹”」にふさわしく日本酒で乾杯が行われ懇親会に移った。

懇親会は、始終和やかに進み記念撮影、濱田正義副支部長（伊丹市前助役）の閉会の挨拶で定期総会を終えた。

市民納涼のつどい（市総合体育館北側特設会場で開催）に今年も参加した。

会場の一角のテント両端に「関西大学校友会川西支部」の幟を掲げ、ゲームコーナー・氷菓子売店を設け出店し、支部活動の一端をPRした。幸い二日間共天候に恵まれ、幼い子供連れの家族、中学・高校生や若いカップル達と大勢の市民が来場された。

各種ゲームコーナー、風船、金魚すくい、ファーストフード店、その他多数の夜店がテントを連ね、小さい子供達の歓声が響くなか盆踊りやヨサコイソーラン楽団演奏などが賑やかに繰り広げられ夏の夜を楽しんだ。

テント裏では支部長以下役員が幟を目印に訪れる校友とビールを飲みながら歓談するなか、柴生川西市長をはじめ市会議員の方々や校友の木挽衆議院議員、菅原市議会議員、加茂県議が次々と陣中見舞いに来られ大いに盛



川西支部が「市民納涼のつどい」に今年も参加

（43学一経・古屋敷達夫）
（ヒラク・加藤 拓）〇七二―七八五―五五〇七）

夕涼み饗宴と花火競演

昨年結成の神戸平成倶楽部親睦会

八月五日、みなとこうべ海上花火大会に合わせ、神戸支部（芦田弘逸支部長）の平成卒メンバー有志で昨年末に結成した「関大神戸平成倶楽部」の親睦会を開催した。

夕方、三宮に集合し、再度山荘レストランを目指し、元気にハイキング。到着と同時に下山鉄師（平5法）の祝杯でオープン。山本智子（平8社）の司会進行により、初参加の岡本貴之（平5経）、田中千聖（平6法）、東野祐樹（平16総情）が入り、山麓の中でバーベキューを楽しんだ。校友会事務局より、平成卒の奥田恵造氏が駆けつけてくださり、本部の事業紹介を聴き、神戸平成メンバーは、本部への



神戸平成倶楽部親睦会

関心とネットワークを身近に体感できたことは有意義だった。

バーベキューの後、ビーナスブリッジへ向かい、神戸の夜景と真夏の夜空の華で最快事な時空を共にした。

これからも親睦会を展開していきますので、平成卒の神戸メンバーの参加をお待ちしています。なお、この企画は神戸支部より事業予算化いただき、助成を受け感謝しております。

（平5法 下山鉄師）
URL <http://groups.yahoo.co.jp/group/kuua-kobe-heisei/>
メール kuua-kobe-heisei-owner@yahoo.co.jp

歴史を訪ねる会と初の支部セミナー

宝塚支部が活動の充実に向け「事業宝塚支部（高橋一夫支部長）では活動の充実に向け、六月十七日に宝塚の歴史を訪ねる会を七月十五日に支部セミナーを相次いで開催した。

宝塚の歴史を訪ねる会は年配者を中心に参加があり、講師は郷土史に詳しい校友が行い、ウォーキングを兼ねてメモを片手に我がまちの歴史を楽しく訪ねた。今回は第二回目の開催で、あいにくと雨だったが、それだけに落着いて我がまちの歴史を訪ねる事が出来、「目から鱗が

り上がった。

二日間を通じ母校ならびに川西支部を大いにアピールできた実りの多い行事参加となった。

（副支部長・山内眞一郎）
（猪名川住建・中西清之）〇七二―七五七―四三九二）

支部発展のための三項目を確認
池田支部が市内割烹で総会

七月二十六日、池田支部（古川智支部長）では池田市内割烹「マスマミ荘」で三十四人出席のもと総会を開催した。

第一部総会では、決算報告・予算案の承認があり、古川支部長以下現役員の再任も併せ承認された。今後の課題として支部活動をより発展させる意味で、次の事項を推進する事を確認した。一、会員各人が常に新規会員勧誘に努める（新しい血を入れる）。二、校友会本部との交流を活発化する。三、残り期間僅かながら最後の募金活動に協力する。

第二部では、来賓の片山副会長ほか近隣支部代表にも参加いただき、片山副会長から「強い関大の現状と将来」と題して詳細なる報告を聞き、参加者全員が改めて関大校友会員であることの自覚と誇りを感じた次第である。

懇親会では時間の経過と共に先輩後輩の区別なく、久しぶりに和気あいあいの雰囲気味わう事が出来た。終盤にはビンゴゲームで更に盛り上がり、参加者全員は高級ブランド他多数の景品を手にな残惜しみながら散会した。（廣芝國夫）
（古川智）〇七二―七五―一六六二）

河内長野支部総会に八十五人参集
新支部長に上奥雅勇氏選出



河内長野支部総会

部（長尾保支部長）は、七月二日に河内長野荘で、来賓として一軸浩幸校友会長、阿部誠治商学部長代理、福田弘行河内長野市教育長、近隣八支部役員の臨席のもと、八十五人の参加を得て十八年度総会を開催した。

総会は、今春卒業の金信裕応援団第八十三代団長のリードで学歌斉唱に始まり、任期満了で今回退任する長尾支部長の挨拶

〈各地支部だより〉

幟を掲げ母校と川西支部をPR
「市民納涼のつどい」に参加

川西支部（水口博喜支部長）では、七月二十九日、三十日に催された川西市夏の恒例行事

冬の山陰／香住港 味覚の王者・松葉ガニ

本場の かに料理

11月初旬～3月末迄（予約受付中）

ぜひ一度ご賞味下さい。ウィークデーのご利用は特別サービスいたします。

◆豊富な海の幸 荒磯料理 ◆高級和牛のふるさと 但馬牛料理

その他ご予算に応じて料理致します。

香住温泉内湯

香住生まれのOBが経営しております

海辺の宿 はまかせ荘

ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ

TEL 0796-36-0773 FAX 0796-36-1898 <http://www.hamakazeso.jp>

兵庫県城崎郡香住町下浜（香住駅から徒歩で4分）

YKK AP

FACADE DESIGN & ENGINEERING

YKK AP株式会社

東京都千代田区神田和泉町1

<http://www.ykkap.co.jp/facade>

タヒボ NFD® は、ほぼロコミだけで 70万人の方々に愛飲されてきました。

●ティーバッグ(5g×30包) ————— 21,000円(税込み)

●エッセンス【顆粒タイプ】(2g×30包) —26,250円(税込み)

●ナフディン【錠剤タイプ】(455mg×120錠) —26,250円(税込み)

NFD

タヒボNFDは世界中で認められた天然樹木茶。含有成分NFD(ナフトランディオン)日本・米国・台湾で特許取得

●日本物質特許 第2669762号／●米国物質特許 第5663197号／●台湾特許 第092054号

▼無料サンプル&体験談を差上げます。お気軽にお電話下さい。

販売店

タヒボアイ

代表 橋田 元子(旧姓:松尾) 商98年卒

0120-83-0075

制御盤配電盤製作・計装、電気工事

ISO 9001:2000取得 cert No:ci/1275

共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信義

本社 〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号

電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172

東京営業所 〒177-0033 東京都練馬区高野台2丁目6番16号

電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430

〈各地支部だより〉



に続いて、会則の一部改正や事業・決算報告等を行い、新支部長には上奥雅男氏（昭38学一法）が選ばれた。

引き続き前衆議院議員で元関西大学文学部教授の林省之介氏による「江戸時代を知るおもしろ文化講座」を楽しく拝聴し、河内長野アマチュア吹奏楽団「ブルーウィング」三十五人による「ひばりメドレー」などの華やかな演奏で懇親会へ突入した。

宴たけなわで始まった恒例のビンゴゲームは、「天野酒」で有名な地元河内長野の西條酒造合資会社蔵主の西條陽三支部会員（昭63学一商）から提供いただいた校友会支部オリジナルボトルの銘酒Ⅱ写真Ⅱが賞品で大好評だった。（全国新酒鑑評会など平成十八年に出品したすべての鑑評会で金賞受賞のすばらしいお酒です。ぜひ入手したいという方は西條校友yosaijo@amanosake.comまでご連絡下さい。）なお、ビンゴゲームの売上金二十万円は百二十周年記念募金の

寄付として一軸会長に手渡された。（湯川 勝）
（上奥雅男Ⅱ〇七二一六三三三四五七）

林氏が「高齢者パラダイス構想」講演
設立15周年迎えた熊取支部総会

熊取支部（溝端稲夫支部長）は十八年度定時総会を七月二十三日に開催した。当支部は、平成三十一年十一月十六日の設立以来、校友の親睦を深めるための様々な活動を継続してきており、本年が設立十五周年の節目の年にあたる。

今回はその記念事業として、元関西大学教授の林省之介氏をお招きしての講演会を盛り込み、熊取町内の煉瓦造りの綿布工場跡を活用して昨年十一月に開館した「熊取町立熊取交流センター（煉瓦館）」において実施した。本部からは、古川副会長らがお祝いにかけつけていただき、校友との懇談も大いに弾んだ。



林先生の講演を聞く熊取支部総会の参加者

互に交流・意見交換を行ないながら、カラオケ大会などで和やかなひとときを過ごした。（竹内一郎）
（山本定夫Ⅱ〇七二四一六六一〇三八〇）

年々盛大に四條畷支部「歩」大会
総会でビデオ「学歌誕生秘話」鑑賞

四條畷支部（松岡均支部長）は七月一日、市内の料亭「くるまや」において、本部の寺内副会長はじめ北川知克衆議院議員、地元の田中市長、近隣四支部の来賓を迎え総勢二十六人の参加で十八年度総会を開催した。

第一部では、松岡支部長の校友間の友情、親睦を深め『和』を広げようの挨拶に始まり、来賓の方々の心篤いご祝辞により総会が盛り上がった。



泉佐野支部支部総会

続いて議事に移行各担当者より会計報告・監査報告・事業報告等が承認された。特に事業報告の中で年二回実施している「歩こう会」は年々盛大になり参加者も毎回二十数人になり喜ば



四條畷支部総会

副会長から大学の近況の説明など心あたまるスピーチをいただいた後、溝端支部長による議事進行で十八年度予算案などが可決された。続いて、校友の家族や友人・知人など多数のご参加のもと、「高齢者パラダイス構想」とのタイトルで、少子高齢化社会の中で高齢者が安心して暮らせる秘策について、林氏からご講演をいただいた。ユニークな内容でみなさん興味津々といった面持ちだった。

その後の懇親会は、場所を替えて泉南市内で実施し、下中顧問の乾杯の発声で始まった。今回初めて参加される方も数人あったので、校友の近況を交えた自己紹介を行いながら、懇親を深めた。

暑い最中ではあったが、予定していた時間もあつという間に過ぎてしまい、みんなで輪になって田中相談役のリードによる逍遙歌、山下副会長による万歳三唱に続き、甲田副会長の閉会のあいさつで幕を閉じた。（松浪敬一）
（溝端稲夫Ⅱ〇七二四一五二一〇六五八）

全役員の再選を承認
守口支部総会に63人出席
守口支部（吉川美恵子支部長）



守口支部総会-再選が決まった吉川美恵子支部長があいさつ

の十八年度総会は七月五日、守口ロイヤルパインズホテルにおいて一軸浩幸校友会長をはじめ近隣各支部長などをお招きし、六十三人が出席して盛大に開催された。

第一部は古川支部長、澤井良一校友会議員の挨拶のあと議事に入り、事業及び財務関係の案件を承認。また、今年は二年ごとの役員改選の年に当たったが、これも執行部提案どおり現役員が全員留任すること何ら異義なく、満場一致で承認された。続いて一軸校友会長より母校の近況報告も兼ねたご挨拶をいただいた。

第二部は、初参加三人・新入会五人の校友を紹介したところで、校友の喜多洋三守口市長が他の公務を済ませ駆けつけていただいたので、さっそく挨拶を頂戴した。

続いて、松岡均四條畷支部長に乾杯の発声をお願いし宴に入

しい事である。

最後に関西大学学歌誕生秘話のビデオを放映し、松岡支部長より戦後の関大を回顧する講話を一同熱心に拝聴した。

第二部懇親会は、和やかな談笑、会食に時の流れを忘れ予定時間を大きく超過。全員で逍遙歌を合唱、万歳三唱で閉会した。（高橋誠一）
（松岡 均Ⅱ〇七二一八七八一四四六八）

名代の味処で初夏の旬を味わう
八尾支部総会に豪華な来賓

八尾支部（横山享史支部長）は、六月二十五日に十八年度総会を近鉄八尾駅前の味処「なる」で開催した。本部から一軸会長、大学から畑下評議員会議長、近隣の各支部から支部長・役員の方々を来賓に迎え和やかに行われた。

第一部総会は学歌斉唱で幕を開け、物故者に黙祷を捧げ、横山支部長挨拶、来賓紹介、来賓代表の一軸会長のご挨拶を頂いた。事業報告及び会計報告、事業計画案及び予算案は満場一致で承認された。

第二部では一軸会長の就任を祝し、また本部校友会から個人功労賞を受賞した青砥副支部長を祝し、佐々木裕子校友から花



八尾支部支部総会

束贈呈があり万雷の拍手で盛りあげた。

第三部では来賓を代表して田中平野支部長のご挨拶、畑下議長の乾杯の発声

で賑やかに懇親会が始まった。今回は母校創立百二十周年の話題で盛り上がり、八尾支部挙って参加しようと決意も新たにされた。また、各校友が相互に交流・意見交換も行われ、お馴染みの水野校友のマジックショーを堪能した。

最年長の校友である村田善正先輩の万歳三唱で感動のお開きとなり、名残を惜しみつつ小雨降る中散会となった。

（中尾達夫）
（横山享史Ⅱ〇六一六七一一四三三四）

ビンゴゲームなどで懇親深める
片山副会長を迎え松原支部総会

六月十八日、松原支部（辻野和一支部長）では池内中公民館において総会を開催した。片山久江副会長をはじめ、近隣各支部からも多数の方々に参加

特許・商標・出願全般
特許侵害事件

鮫島国際特許事務所

所長・弁理士 鮫島武信

大阪市西区北堀江一丁目七番三号 大花興産ビル2F・3F
（四ツ橋交差点西角・地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）

電話大阪 06 (6531) 7 4 3 1 (代)
ファックス 06 (6531) 7 4 3 5

血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!

糖尿病に燕子掌

へモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。

「お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかったA1C値」。今回、やっと下げるモノが見つかりました!と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。

▼この漢方・燕子掌の詳細資料・改善データを無料でお送りいたします。

0120(090)358

ヘルスケア研究所

資料無料送付

燕子掌

180粒 18,900円(税込)
特許番号
第2535674号



松原支部支部総会

加して頂き、役員改選等の審議の後、総会は無事終了した。

続いて懇親会に移り、ビンゴゲームなどで大いに親睦を深めた。今年とはとくに豪華な景品を用意したが、近隣支部の参加者に当たり、大変喜んで頂いた。松原支部としては面目が保たれた懇親会となった。（辻野和一）
（辻野和Ⅱ〇七二一三三六一八四四八）

日本民謡や津軽三味線を楽しむ
福島支部総会に羽間元理事長も

十八年度の福島支部（宮腰健司支部長）総会は、六月十七日、コミュニティプラザ大阪に三十人の校友が集い開催された。

総会は、谷口晴彦幹事長（昭50経）の司会で学歌斉唱から始まった。宮腰支部長（昭35法）挨拶の後、石川昌司校友会副会長から祝辞を頂き議事に移った。今井信義副支部長（昭30経）を議長に選出し、一号議案、事業報告・事業予定を門矢輝彦副支部長（昭35経）、二号議案、決

〈各地支部だより〉

算報告・予算提案を今村悦造（昭34経）が、会計監査報告を土屋義雄会計監査（昭38経）が行い、審議の後承認された。三和勝彦幹事（昭31学経）は支部主催「史跡めぐりの会」の活動報告を行い行事への参加を訴えた。

懇親会は、成世昌平一門の成世昌武、千昌、勝昌の各氏による日本民謡や津軽三味線の披露、花柳加寿福さんの因幡大黒舞の披露があり会場は大いに盛り上がった。

羽間平安前理事長（昭25商・27法）も関関戦終了後、駆けつけていただき挨拶を頂いた。宮腰支部長の発案で百二十周年募金活動も急遽会場で行われ、五万円余の浄財が集められた。支部寄付金十万円と共に成岡昭二校友会事務局長代行に会場で贈呈された。

恒例の福引も有志から多数の寄贈があり、抽選会も楽しく、笑いに包まれて行われた。宮腰支部長のリードで逍遙歌を合唱、参加



福島支部支部総会

者一同再会を誓い閉会となった。（谷口晴彦）（宮腰健司）〇六一六四五三（〇五一九）

大阪市の将来について講演聞く
此花新支部長に平岡昭雄氏

此花支部（加藤朗士支部長）の第十四回総会が七月十五日、福島区のホテル阪神で開催された。

羽織、袴、高下駄で登場した二部初めての女性応援団長の指揮のもと学歌斉唱で開会。加藤朗士支部長の挨拶があり、来賓として出席された校友会本部の古川好男副会長は、大学の現状を詳しく説明され、百二十周年記念事業の募金活動も最終章に入り、校友の協力を話された。

総会では永年、会の融和と発展に寄与された加藤朗士支部長（昭32文）が勇退され、平岡昭雄氏（昭40法）が新支部長に就任した。副支部長以下の新役員案も満場一致で承認された。

第二部では、昨年も講師をしていただき好評であった村上栄一氏（昭52法、市政改革室部長・前此花区長）に再登場願う「大阪市の将来について」とのテーマで約一時間講演を頂いた。大阪市の改革も軌道に乗りつつあることが見てとれるほど、詳し



此花支部支部総会

い丁寧な講演であった。第三部は、梅香中学校長の稲田雅晴氏の乾杯の音頭で開宴。初めて参加された校友もあり和やかな懇親であった。途中、二部応援団による応援歌の披露もあり、最後は遙かに過ぎ去った千里山を想い逍遙歌を高らかに吟じ、万歳三唱で終了。来年十五回での再会を期し二次会、三次会へと繰り出した。

（幹事長 本田勝則）〇六一六四六一―六八六四

福引抽選会で自転車など
東急インで東淀川支部総会

東淀川支部（寺内俊太郎支部長）は、七月八日に北区堂山町の東急インで、総会を開催した。当日は、本部の全国組織代表者会議の日であったが、片山久江校友会副会長をはじめ近隣支部の支部長、役員の方々を来賓に迎えることができた。

第一部では、十七年度の活動報告・会計報告、十八年度の事



東淀川支部支部総会

新卒会員例年以上の十三人が入会
自動車関大会総会でチャリティなど

在阪の自動車業界に従事する校友で組織している自動車関大会（大神勝美会長）の第四十一回定時総会が、七月十二日に三井アーバンホテル大阪ベイタワーで八十五人が出席し、来賓として片山久江校友会副会長、北嶋弘一工学部教授らを迎えて開催された。

第一部は、学歌斉唱、会長挨拶のあと議事が進められ、報告承認事項である十七年度の事業報告、会計報告が満場一致で承認された。また任期満了に伴う役員改選が行われ、大神会長が再選され、常任幹事もほぼ全員が留任となった。その後、今年

掲載は、組織名、開催日時、場所（会費、連絡先・電話番号）の順。

- ▽首都圏支部連合会総会 9月30日（土）午後4時 パソナ本社（7千円、女子校友・平成卒校友5千円、関西大学東京センター）〇三三三三―一五二五〇
- ▽羽曳野支部再建総会 9月30日（土）午後6時 L.I.C.はびきの（7千円、関西インシチュアランス・小林民夫）〇七二九三三八―七七八
- ▽愛知支部総会 10月6日（金）午後6時半 名古屋観光ホテル（知多工業・森田敏二）〇五六一三三三―一五八二二
- ▽大阪家事調停協会関大会総会 10月6日（金）午後6時 プリムローズ大阪（鍋島均）〇七二二二二―一五二六九
- ▽東住吉支部総会 10月6日（金）午後6時半 阿倍野アポロビル・楓風閣（飛翔法律事務所・中村潤一郎）〇六一六六九―一七八五
- ▽宝塚支部総会 10月7日（土）午前11時 ホテル若水（塚本寿一）〇七九七八五―一四九一
- ▽西淀川支部再建総会 10月7日（土）午後2時 大阪駅前第一ビル・神仙閣（1万円、沢 勲）〇六一六四七―一五四八五、長谷部組・長谷部憲司）〇六一六四七二―一三二六
- ▽川西支部総会 10月7日（土）午後6時 アステ川西（猪名川住建・中西清之）〇七二二七五七―四三九二
- ▽鶴見支部総会 10月7日（土）午後6時半 京橋ダイエー・大北京（徳野豊）〇六一六九二―一三三七
- ▽体育会昭和38年卒第3回同期会 10月7日（土）午後6時半 新阪急ホテル（1万2千円）〇百二十周年寄付含む、野球部・草川雄二）〇九〇一九二―一七五七四五、射撃部・女川隆）〇九〇一三二七四―一四〇三八
- ▽応援団OB長柄会総会 10月14日（土）午後6時 新阪急ホテル（中村博）〇六一六七〇五―一五六七八
- ▽予科有終会総会 10月19日（木）午後5時 新阪急ホテル（河合光熙）〇七二九一八―一五六〇三
- ▽二九千里会総会 10月21日（土）午前11時半 肥後橋・徐園（8千円、森知子）〇六一六三八―三五九一
- ▽大分千里会総会 10月21日（土）午後6時 大分全日空ホテルオアシスタワー（7千円、協栄エステート・竹村浩太郎）〇九七―一五三五一―二七八八
- ▽神戸市役所関大倶楽部総会 10月25日（水）午後6時半 神戸東急イン（1万円、みなと総局空港事業室推進課・岡田宏二）〇七八三二―一五〇三二
- ▽東播支部総会 10月25日（水）午後6時半 加古川プラザホテル（荻内隆昭）〇七九四―二六六八五四
- ▽神崎支部総会 10月28日（土）午前10時半 福岡町・文殊荘（山下武彦）〇七九〇―二六一六八〇
- ▽箕面支部総会 10月28日（土）午後5時 箕面観光ホテル（日産チェリー・箕面販売・藤元尚宏）〇七二七―一三二五五八
- ▽枚方支部総会 10月29日（日）午後5時 ひらかた仙亭（1万円、卒業後20年以内8千円、10年以内6千円、女子部5千円、新卒無料、阿部進）〇七二一八四八―二三二二
- ▽岐阜支部総会 11月3日（祝）午後4時 岐阜ランドホテル（ハビックス・福村善光）〇五八―一三九六―一三九一
- ▽二商同窓会総会 11月11日（土）正午 （飯田八郎）〇六一六三七―一八九六
- ▽高知支部総会 11月11日（土）午後5時半 高知会館（岡内紀雄）〇八八―一八七三―一三七〇
- ▽備後支部総会 11月11日（土）午後6時半 福山ニューキャッス

会と催し

- 日（土）午後6時 新阪急ホテル（中村博）〇六一六七〇五―一五六七八
- ▽予科有終会総会 10月19日（木）午後5時 新阪急ホテル（河合光熙）〇七二九一八―一五六〇三
- ▽二九千里会総会 10月21日（土）午前11時半 肥後橋・徐園（8千円、森知子）〇六一六三八―三五九一
- ▽大分千里会総会 10月21日（土）午後6時 大分全日空ホテルオアシスタワー（7千円、協栄エステート・竹村浩太郎）〇九七―一五三五一―二七八八
- ▽神戸市役所関大倶楽部総会 10月25日（水）午後6時半 神戸東急イン（1万円、みなと総局空港事業室推進課・岡田宏二）〇七八三二―一五〇三二
- ▽東播支部総会 10月25日（水）午後6時半 加古川プラザホテル（荻内隆昭）〇七九四―二六六八五四
- ▽神崎支部総会 10月28日（土）午前10時半 福岡町・文殊荘（山下武彦）〇七九〇―二六一六八〇
- ▽箕面支部総会 10月28日（土）午後5時 箕面観光ホテル（日産チェリー・箕面販売・藤元尚宏）〇七二七―一三二五五八
- ▽枚方支部総会 10月29日（日）午後5時 ひらかた仙亭（1万円、卒業後20年以内8千円、10年以内6千円、女子部5千円、新卒無料、阿部進）〇七二一八四八―二三二二
- ▽岐阜支部総会 11月3日（祝）午後4時 岐阜ランドホテル（ハビックス・福村善光）〇五八―一三九六―一三九一
- ▽二商同窓会総会 11月11日（土）正午 （飯田八郎）〇六一六三七―一八九六
- ▽高知支部総会 11月11日（土）午後5時半 高知会館（岡内紀雄）〇八八―一八七三―一三七〇
- ▽備後支部総会 11月11日（土）午後6時半 福山ニューキャッス

ルホテル（福山包装・畦崎雅則）〇八四九―一四三三―一七四二

- ▽生駒支部総会 11月12日（日）午後5時 近鉄生駒駅前・メルヘン（6千円、杉岡昌彦）〇七四三―一七八一―〇三〇
- ▽東京経済人倶楽部交歓会 11月14日（火）午後6時 パソナ本社（関西大学東京センター）〇三三三―一五二五〇
- ▽司法書士関大会総会 11月17日（金）午後6時 大阪キャッスルホテル（8千円、塩田司法書士事務所）〇六一六四三―一七二四
- ▽泉南支部総会 11月19日（日）午後3時 マリンロッジ・海風館（8千円、30歳以下5千円、築野由照）〇七二四―一七六一―七八二
- ▽コルテクニカOB会40周年祝賀会（合唱付） 11月19日（日）12時半 百年記念会館・紫紺（8千円、家族・友人無料、紺木久彌）〇七四二―一三二二六〇
- ▽堺支部女子部総会 11月19日（日）午後1時 セロワンネーブルハウス（3千円、能川夏代）〇七二二五〇―一四〇四五
- ▽関大法書会総会・司法試験合格者祝賀会 11月24日（金）午後5時 ホテルモントレ・グラミアハウス（かとう法律事務所）〇六一六三―一三二三五
- ▽長谷川雅樹先生米寿お祝い会 11月25日（土）正午 大阪駅前第一ビル・神仙閣（1万円、寿商事・田中義昭）〇六一六四〇―一五二〇
- ▽平野支部総会 11月25日（土）午後6時 寺田町・フエイセスゲストハウス（8千円、平成16・17・18年卒は無料、田中義信法律事務所）〇六一六三二―一六〇三三八
- ▽大阪市内支部連合会支部長会 12月2日（土）午後6時 大阪キャッスルホテル（辻佐一郎）〇六一六九六―一三六六
- ▽公認会計士試験合格者祝賀会 12月2日（土）午後6時半 ホテルモントレ・グラミアハウス（山田拓幸）〇六一六六二―一七四九五

賓祝辞を頂戴し、総勢二十九人の総会は無事終了した。

第二部懇親会は、会場を移し林省之助先生はじめ来賓の方々より祝辞を頂き、本部の成岡昭二事務局長代行の乾杯で、先輩、後輩の年齢差を越えた団欒な交流となった。恒例の空クジなしの福引抽選会では、北野副支部長から寄附された自転車二台分の引換券もあつて盛り上がった。

（副幹事長 木川高志）（福田淳三郎）〇六一六三二二―一五一〇七



自動車関大会総会

の新卒会員が紹介されたが十三人と例年以上に多くの新卒会員が入会した。

大神会長は「自動車関大会は昭和四十年五月に発足以来、会員は販売会社の垣根を越えて親睦を深め人脈を広げてきた。今

後も母校の発展とともに自動車業界の発展に寄与したい」と挨拶した。

第二部は乾杯の後に懇親会に移り、恒例のチャリティバザーが催された。出席者からさまざまな出品があり、売り手と買い手の競り合う声飛び交う中日頃は仕事上ライバルである会員同士がこの時ばかりは楽しく和やかなひとときを過ごした。売上金の一部は大阪交通災害遺族会への寄付に充てられる。最後は逍遙歌合唱、万歳三唱で閉会した。（事務局長 中野吾一）（トヨタ自動車・中野吾一）〇六一六四五一―六八五三

塩田司法書士関大会会長が講師
会計人会研修会に最高の六十二人

関西大学会計人会（中村良介会長）では、六月十三日に大阪市中央区の釣鐘倶楽部において、認定研修を開催した。当会が近畿税理士会の研修認定団体と認定されて通算三回目となるもの。

今回の研修テーマは「新会社法と商業登記」で、講師には司法書士関大会の会長でもある司法書士の塩田貴美代先生にお願いした。五月一日に会社法が施行された直後でもあり会員の関心は高く、参加者は六十二人を数えた。特にこの内三十人は研

修に初参加の会員であり、関心の高さを裏付けた。

中村成明研修担当幹事の司会のもとで、中村会長の挨拶に引き続いて山田拓幸研修担当副会長が講師を紹介した。講師の塩田先生は純白のスーツ姿でご登壇、二時間にわたって詳細な説明をいただいた。



会計人会研修会

今回の研修では会社法の理論的な解説よりも直ちに対応が必要な登記事項を中心に、しかも非公開会社や小会社などを対象に説明いただいたので極めて実務的な研修となった。

また講師も受講者も母校を同じくするものだけに、フレンドリーな研修となり、講義終了後も講師に対する質問が相次ぐなど意義深いものとなっていた。

（中村良介）〇六一六四四二―七五一二

南部一成会長を再選
枚方市役所秀麗会総会

枚方市役所秀麗会（南部一成会長）の十八年度総会が七月五日、枚方市内の「肉の松阪・山

〈各地支部だより〉



枚方市役所秀麗会総会

過するほどであった。

（幹事長 服部寛治）

（枚方公園青少年センター・服部寛治）〇七二一八四三―四六九九）

信金亭八光さんの話で脳内活性化 経済人クラブが第七三回例会

経済人クラブ（樋口学会長）では、八月七日に新阪急ホテルで第一七三回例会を開催した。今回はユーモアコンサルタントの矢野宗宏氏（昭54法）をお招きして、「笑いをビジネスにいかす」をテーマに語っていただいた。

在学中は文化会・落語大学の第十四代学長として活躍、卒業後は八光信用金庫に入庫、苦難の十年後に、上司の後押しで職員の「お笑い研究会」を旗揚げ。以後毎回トリをつとめた信用金庫の「すえひろ寄席」は、硬いイメージの信金とお笑いとのもミスマッチが受け、取材が殺到したとのこと。平成十四年にユー



経済人クラブが第173回例会

モアコンサルタントとして独立、企業の研修会等に講演活動を行っておられる。

信金亭八光（**そえひろ**）さんの「おもろい話」で、メンバー全員久しぶりに脳内細胞が活性化された。特に、アメリカのフォード大統領の就任挨拶のジョーク「私はリンカーンではなくフォードです」は印象的だった。

懇親会は、今回も会員相互の交流を深めるため、円形テーブルで開催された。樋口会長の挨拶、ご来賓の一軸浩幸校友会長の激励の言葉と乾杯の音頭で始められた。なお、今回は元校友会長の畑下辰典氏（昭27経）にもご出席いただいた。また上島弘資氏（昭55経）ソニックジャパン営業部長が入会、（社）大阪府経営合理化協会の森川嘉夫専務理事（昭39工）が特別参加した。（**幹事会事務局・田合邦臣**）（校友会事務局）〇六一六三六八―〇四一）

劇作家・和田澄子さんが初参加 二九千里会が太閤園で納涼懇談会

二九千里会（鈴木清子会長）では七月十八日、大阪網島の太閤園で納涼懇談会を開いた。

梅雨末期の不安定な空模様の中、名古屋から会沢氏、徳島から高田氏、松阪から牟田口氏が

りとした山の気配と冷たい水。

にぎやかな笑顔とはしゃぐ声で山荘は満ちている。その煌々とした灯りの建物は、もうすっかり自分たちの原風景になってしまった。

（原田景子）

（武田好生）〇七九八―六七一〇四二七）

一高同窓会が奨励金を授与 インターハイ等出場の部に

一高同窓会（田中義昭会長）

は七月八日、一高校長室にてインターハイや全国大会へ出場場のクラブに対しスポーツ奨励金の授与を行った。



一高同窓会が奨励金授与

今年度のインターハイ出場クラブは、サッカー部・空手道部（女子団体組み手）・柔道（男子個人）・フェンシング（女子団体）、全国大会出場クラブは、マルチメディア部・日本拳法部。各クラブより現役の学生達が出席して和やかな授与式となった。なお、このスポーツ奨励金はインターハイや近畿大会・全国大会へ出場が決まっているクラブに応援金として毎年授与され



二九千里会納涼懇談会

出席、それに本会のオブザーバーの藤本道人氏をお迎えして予定の四十一人全員が参集した。

会は鈴木会長の挨拶で始まり、五月に亡くなられた有本、住羽地両氏を悼んで黙祷、卒業五十周年記念誌出版委員長・天井氏の乾杯の音頭で懇談に入った。スプリングフェスティバル以来の再会で話が弾む中、水野、八木、平川の三氏が難航している五十周年記念誌について現状を報告され、同期生全員の一層の協力を要請された。次いで岩田恵美子さんから今回初出席の和田澄子さんを紹介していただく。和田さんは劇作家として活躍中の才媛で、八月十九日には吹田市の文化会館でご自作の公演があるとのこと。これからは同期生一同で応援してさし上げたい。

太閤園の心づくしの献立に食がすすみ歓談はつきなかつたが、予定の時間も終りに近づいたの



博修士会総会で挨拶する天井前会長

友もいた。

この後談笑に入り、和やかな語らいのひと時であったが、来春の再会を約してお開きとした。

（前田正子）

※新刊書（二〇〇六年二月二八日初版発行）

『両性具有のシェイクスピア』

著者 塗木桂子（昭41英文科卒、名古屋外国語大学助教授）

発行所 大阪教育図書株式会社

いつよに行きませんか？ 女子秀麗会が秋のバスツアー

女子秀麗会（仁井ひろみ会長）では、十一月五日の日曜日に「うず潮クルーズと大塚国際美術館鑑賞」の日帰りバス旅行を計画している。

うず潮は大潮に当たっているため、迫力満点の眺めが期待できそう。また大塚国際美術館は、世界の名画千点余りを原寸大に陶板で再現した約四キロに及ぶ鑑賞ルート。一見の価値がある。昼食は会員制リゾートホテルでイタリア料理をいただきます。

校友の皆さまも、ぜひご参加ください。なお現役女子学生は参加費半額!!
参加費Ⅱ 大人一万四千元、中学生以下一万元
連絡先Ⅱ 事業部・岡田由美（〇六一六九四二―二六五一）

校友だより

宮下住職らが「書と音の律動」大閘園の網島フェスタに参加

今年も、八月の太閘園（大阪都島区）恒例網島フェスタに、テクノアート光稜グループ（代表内藤稜児）本名和雄、昭29学一法）も協賛参加をしたが、その一会場として、「書と音の律動」描く心に和む脈絡・奏でる音色」をテーマに、書画と音楽の表現に共有して存在する想像基盤（リズムとハーモニー）を高揚すべく、書画とピアノのコラボレーションを企画開催した。

宮下寛昇（昭42学一法、当麻寺宗胤院住職）墨心会一門の書画と、ピアノニストの演奏、音楽



を書画として表現する試みなど、会場が一体となった臨場感に、多数の方々から絶大なる評価と賛同をいただいた。開催に当っては、内藤稜児がコーディネーターとして参加したが、今後はこの様な催しを発展的に開催し、芸術文化で御活躍中の校友諸氏にも、御参加御協力と御援助を賜り、母校関西大学と校友会が益々隆盛されるよう、その渦を広げていきたい願っている。

なお、独自の書風が世界各地で高い評価を受けている宮下住職は、十一月に京都東急ホテル（京都市下京区堀川通五条下ル）で書と水墨画の「宮下寛昇書画展」を開催することになっている。（内藤稜児）

19年の卓上カレンダー写真作家内藤氏が発表

日本の風景や山野草を撮り続

八年八月に賞状が授与された。

「妙な祟り」は一人の郵便局員が、それまで生きていた現世でのことを語る作風を使い、職場に生きる者が避けて通れない、上司、同僚、部下との仕事上のやり取りや意思疎通の曲折を、回想場面も含めていきいきと描き、物語全体が人の世の大部分が、誰であれ誠心誠意をこめて仕事をこなし、心を通わせていくことで成り立っていることを強調した、労作となっている。

校祖「児島惟謙先生」の生誕地を訪ねて

NHK朝四時のラジオ放送「心の時代」を聞いていると、愛媛県宇和島遊子漁協の元組合長、古谷和夫さんの「日本一心ゆたかな村おこし村づくり」のお話だった。

心動かされ、私は早速、五月九日に十数年ぶりに校祖児島惟



の母校関西大学の創立に参画しておられた先生にお目にかかり、今も、脈々として、学生時代から今日まで生活指針として私は持ち続けている。宇和島市役所に

け、毎年詩情性豊かな卓上カレンダーを發表している写真部OBの内藤稜児氏が、このほど来年の作品二種類を發表した。

十九年の作品は、小川の落ち込みの飛沫が美しい氷の結晶体に成長した姿をとらえた「厳冬凍流」（二月）や、紺碧の海と弓なりの砂浜、その向こうに白い入道雲の壮大なパノラマ「雲湧く浜」（七月）など風景中心の『韻律の閑』（十二枚組）写真左と、森の木の根元、蔓頂に可憐な白い花をつけた「バйкаオウレン」（二月）、小径の木陰に佇む双体石仏の前、リンとした黄花の彼岸花「ショウウキズイセン」（十月）など四季折々の山野草で綴った『山野の妙草』（十二枚組）の二種類。題字は当麻寺・宗胤院住職の宮下寛昇氏。



向い、教育委員会を訪ねたところ、本年五月二日に生誕百七十年記念講演会が開催されたこと。席上、児島鐵也氏（児島先生の孫、東京都在住）より謝辞があったとお聞きした。

講演会の葉を拝見すると、大津事件では、司法の独立を守り、「護法の神様」といわれたと評され、明治二年品川県の少参事となり、同年四月司法省が設置されると出任、二十二年間の司法生活が始まった。大阪、東京、福島、名古屋の判事を歴任、同十九年大阪控訴院長になった。その在任中、同志社（現同志社大学）の設立運動に力を添え、また、関西法律学校（現関西大学）創立に参画された。

明治二十五年八月大審院院長を辞した。二十七年貴族院議員に勅選されたが郷土の進歩党に要請され、三十一年三月と八月の第五回、第六回衆議院選挙に第六区から立ち当選した。三十五年まで衆議院議員、三十八年再び貴族院議員に選ばれ、第二十銀行頭取などの要職についたが、明治四十一年七月一日、七十二才で没し、東京品川海岸寺に葬られた。

（「愛媛県史人物編」と「宇和島の自然と文化」より抜粋）私達の学生時代には、校祖は

児フォトギャラリー」を常設している太閘園のフロント、ジュンク堂島本店で発売予定だが、得意先への配布など多数量の場合は、光稜テクノアート主宰の内藤氏（電話〇九〇一〇七四一五四三五、FAX〇六一六七六七八八三一）まで。

幼稚園第二回卒園生幹事の還暦祝い同窓会



私は、昭和四十三年文学部史学科の卒業ですが、幼稚園の第一回卒園生でもあります。同窓会幹事の岡田・宮田氏お二人の還暦を記念して、五月二十七日に二回目の同窓会を開きました。千里中央に集合して、宮田氏のヨットが待つ洲本へ出発。快適なドライブ、ヨットハーバー



私は、昭和四十三年文学部史学科の卒業ですが、幼稚園の第一回卒園生でもあります。同窓会幹事の岡田・宮田氏お二人の還暦を記念して、五月二十七日に二回目の同窓会を開きました。千里中央に集合して、宮田氏のヨットが待つ洲本へ出発。快適なドライブ、ヨットハーバー

近くでのバーベキュー、そしてヨット体験です。宮田氏以外ヨットは初めてでしたが、海はおだやかで、ヨットの横で足をブラブラしたり、舵をとってみたいと嬉しい体験でした。小さい時からの付き合いなので「ちゃん」と呼び合うのも楽しいものでした。

お土産に淡路島の新タマネギもどっさり頂き、名残惜しく帰路につきました。（原 幸子）

校友の岸田典久氏コスモス文学小説新人賞受賞

全国公募のあったコスモス文学の会主催の小説新人賞に、校友の岸田典久氏（昭41学一法・昭45院修私）が、平利朝（ひらりとも）という筆名で応募した「妙な祟り」が、第九十八回コスモス文学新人賞・中編小説部門に入賞し、平成十

「児島惟謙だ!!」と言って謙遜し、「惟謙祭」などの催物があった。そのような時、当時の同志社大学の田畑学長が「関大の校祖は児島惟謙にあらず」と雑誌に發表された。逆に、同志社の二〇〇六年大学案内によれば、「同志社大学の前身、同志社英学校は、二人の教授と八人の生徒で明治八年十一月二十九日産声をあげ、初代校長は新島氏が就任した。一八九〇年、新島校長は、大学の開学を待たず死去した」とある。

愛媛県史人物編には同志社の設立運動に児島先生が力を添えたと書かれている。人物事典を見ていると、ほかにも創立にかかわった人物が記載されているが、大学案内には新島氏しか書かれていない。

校友短信

◇大阪府貨物運送健康保険組合理事 長に川端英治氏就任 5月30日付。川端英治氏（かわばた ひではる）推薦校友）は、南海通運代表取締役社長。70歳。

大学 大学の創立は一人では出来ない。法律家、政治家、専門知識をもった人材によって創立される事を、うかがい知ることができる。翻って見るに、参画した中から著名な人が校祖としていることが推考される。

今日まで、心に秘めていた児島惟謙先生の歴史的検証が出来て大きな喜びである。

調査を終えて、ホテルの窓から眺めていると雨上がりの山々が鮮やかに輝き、五十年間の働哭がほとばしったように思えた。

私は、亡き師への報恩のため、先生が眠る東京品川海岸寺に八月五日お参りし、旅を終えた。（古川 智 昭31学一法、池田支部長）

長からの転任で、大阪市スポーツ・みどり振興協会へ派遣。58歳。

◇栗本鉄工所常務・機械事業部長に福井秀明氏就任 6月29日付。福井秀明氏（ふくい ひであき）昭42高1・46学工）は、取締役執行役員からの昇任。58歳。

◇コスモ石油執行役員に堀木正啓氏就任 6月29日付。堀木正啓氏（ほりき まさひろ）昭47学一経）は、執行役員・監査室長。56歳。

◇浅尾悦照氏が紺綬褒章受章 浅尾悦照氏（あさお よしお）昭28学二商）は、赤十字事業資金への寄付により、8月9日に紺綬褒章が授与された。

土井雅雄（昭55学工金） 著

若返りの秘訣は

「補腎健脾（ほじん・けんぴ）」

定価 一、二〇〇円＋税
知道出版 刊



最近出た本である。

仕事柄いろんな付き合いがある。中小企業の経営者から弁護士、医師、政治家など色とりどりである。先頃、本を出版したから読んで欲しいと一冊の本が送られてきた。

土井雅雄：ああ、校友会芦屋支部の役員で健康関係の会社を営んでいる彼だな……。送られてきた本の題が、気をそそる題である。若返りの秘訣は：から始まる。

タイトルからすると健康法かな、それとも新しい健康食品？読んでいくにつれて、これがなかなかおもしろい。現代における医療のあり方、東洋医学の考え方、健康食品の考え方など本質を見直す一冊かもしれない。そこで、中医師・土井雅雄君のプロフィールを紹介しておく。

関西大学卒業後、健康食品販売会社に就職することになる。きっかけはご両親の病気が関係している。持ち前の器量でどんどん出世していくが、ふとした原因で会社を辞め独立することになる。独立してからはさまざまな養生法を研究したという。

極めつけが、上海中医药大学に入学し基礎中医を勉強、国際中医師ライセンスを取得し、現在は上海中医药大学・社会健康増進部日本支部の支部長をしている。

私が、本書を良いと進めるのは、新しい健康食品の開発でもなく、まして販売でもない。巷では間違った健康食品・健康法が氾濫し、それによって健康を害する人たちに警鐘を鳴らす内容だと思えます。それは何千年もの間、変わらないで伝えられてきた健康法「中国伝統医学」の中心が（補腎・健脾）である。

この考え方を伝えることが中医師としての著者の使命とする彼の情熱がこの一冊に込められていると感じたからである。

（昭40学一法 山口良之助）

多田容幸（昭42学二経） 著

『皇国日本の成立と其の真相』

定価 税込二、九四〇円
日新報道 刊



応援団OB千成会副会長の多田容幸先輩が著された本をご紹介します。

本書はまず、「序に代えて」として、「戦後の反日的日本人が壊してしまった「日本的なるもの」」の再建を祈り奉る。」との一文から始まります。

旧来、古代・東アジア文化圏の盟主国であった日本、文明の衝突を創造のエネルギーに変換する皇国日本と日本民族の地球的使命とはいったい何であるのか？ 読み進むにつれその筆力の凄まじさに圧倒されんばかり



名誉教授 網干善教先生逝去

飛鳥の史跡発掘・保存に心血注ぐ

飛鳥の史跡や古墳の発掘調査と保存に渾身の情熱を注ぎ、高松塚古墳・極彩色壁画の第一発見者として知られる網干善教（あはし・よしのり）名誉教授（元文学部教授・考古学専攻、文博）が、7月29日逝去された。78歳。8月1日に営まれた葬儀では、森本靖一郎理事長、河田悌一学長、関義清明日香村村長が弔辞を述べ、約七百人の弔問者が焼香して冥福を祈った。

昭和42年4月本学に着任。44年助教、48年教授。故末永雅雄名誉教授（文化勲章受章者）

の門下生として、同教授を早くから助けて多数の遺跡を調査。昭和47年、「世紀の大発見」として日本中に考古学へのロマンを沸き立たせた極彩色の壁画に彩られた高松塚古墳の発掘をはじめ、川原寺裏山遺跡、八角形の中尾山古墳、マルコ山古墳などを発掘、その研究と保存に力を注いだ。

昭和61年から関西大学一〇〇周年記念事業の一環として行われ



平成14年2月、高松塚古墳発掘30周年を記念して発掘に参加した学生達と現地で同窓会を開催（前列左から3人目が網干先生）

た「日印共同学術調査」では、三次に亘り調査隊長として、インド・サヘート州にある祇園精舎の発掘調査を遂行した。また、度々韓国や中国、東アジアなどの遺跡や文物を視察、研究を深めるとともに、多くの地方史の編集などにも携わり、多数の著書・報告・論文を書かれているが、その研究姿勢は、恩師末永先生の学風を継承して、安易な推測を戒める実証主義の立場を貫かれている。成果の一端は本紙にも数多く寄稿されたが、壁画発見直後の『関大』第一九八号（昭和47年4月15日発行）に掲載された「高松塚古墳

です。日本を識ることの大切さ、そして決して中華文明に同化されなかったまさに「鬼」の気概をもつ我々日本民族。

サミュエル・ハンチントンが言う日本の文明とは何か？ 著者は文明の衝突回避の本質を理解する鍵が日本文明に有ると言う。そしてそれはやがてアジアを超えて世界の秩序の構築へと繋がっていく、と論ずる。筆者の鼓動に共鳴するのは私だけではないと思います。長い年月をかけて多民族国家から単一民族国家に移り行く歴史を知り、世界に比類のない国家観を伝えていく事の大切さをこの本は心に語りかけてくれるのです。

真実の歴史を通して未来をしっかりと見据えている本書は読

『サルトルの文学』が 日本図書館協会の「選定図書」に



関西大学出版部の刊行図書『サルトルの文学』川神傳弘（文学部教授）著（平成18年3月刊行）が社団法人日本図

書館協会の「選定図書」に選ばれた。

フランスの哲学者であり作家であるサルトルは、実存主義の代表者であった。本書は、二十世紀を奏でた倫理と芸術のはざまに響きわたる、受難の調べ“として表現される彼の作品を通じて、その魅力を紹介している。

（応援団OB千成会常任幹事 河野賢治）

の壁画」では、「築造年代は？被葬者は？新聞は各氏の意見を大きく報道したが、興味本位の関心だけで終始してはいけない。判断は軽率であつてはいけない」と記している。

その他、校友会関係では昭和45年の第1回事業部見学会以来、数多くの見学会や海外研修および総会等で講師をつとめられ、研究成果に裏打ちされた巧みな話術で、参加者を魅了していた。

弔 辞

学校法人 関西大学
理事長 森 本 靖一郎

謹んで、故・網干善教先生のたまに對し、学校法人関西大学を代表してお別れの言葉を申し上げます。

永遠の歴史に刻まれるべき金字塔でございます。

先生のご逝去の報に接したとき、私の心の中にあるとてつもなく大きなものが音を立てて崩れていくような思いがいたしました。

衝撃の大きさはとても言葉では表現できません。

関西大学のために否、わが国考古学の発展のためにまだまだご活躍いただきたかったのにと、無念の思いでいっぱいであります。

奈良県明日香村の地において生をうけられた先生は、龍谷大学に学ばれたあと考古学の泰斗、末永雅雄博士の後任として関西大学にお越しいただきました。

考古学の道を一筋に歩まれた先生のご功績の数々は、今さら申し上げるまでもありません。

者に強い知的興奮を喚起するものであり、またそれこそが最大の魅力となっています。

他国に対して寛容になる事と事実を伝えないと言うことは相反する事なのです。事実を伝えなければかりかその事実を眼をつぶり忘却されようとしているという現実に大きな危惧を覚えます。是非ご一読を！

なお、先輩は沖縄慰霊渡行へ百回を達成され、先年そのことについての著を発売されました。またインドの政・財界並びに宗教界等々との交流を通し、インド学術最高会議より哲学博士号をも授与されておられます。

先生には、第一次調査から第三次調査まで通算すると一年以上の長きにわたり、調査隊長として電気も水道もない現地に滞在し、たいへんなご苦勞をいただきました。

その成果は、後日すばらしい報告書にまとめ上げられました。

関西大学校友の皆様へ

O-net

逃さないでね、
出逢いのチャンス。

結婚へつながる、赤い糸

会員数NO.1のオーネットのサービスが、おトクに受けられます！

オーネットでは、提携いただいている法人・機関に所属されている方（関西大学卒業生）が、「法人会員メンバー」として、通常よりお得な費用でご利用いただける「法人会員システム」を提供しております。

Variety

～バラエティ～

No.1だから、多彩な出会い。

会員数No.1

55,331^{*1}人の会員の中から、最もふさわしいパートナーを選べます。出会いのバリエーションも豊富。あなたにぴったりの出会いの方法が見つかります。

Quality

～クオリティ～

No.1だから、信頼できる。

実績こそ信頼の証

平成1～17年12月までの間に、会員同士の成婚退会者数70,188人^{*2}の充実サポート。全国300名以上の経験豊富なアドバイザーが活動をサポートします。

Security

～セキュリティ～

No.1だから、あんしん。

プライバシーは厳守

会員情報はもちろん、お客様のプライバシーは厳重に管理しています。オーネットは1998年12月にプライバシーマークを取得いたしました。

スタンダードプラン

●データマッチングシステム

◆会員数 **55,331^{*1}**名！（男性27,142人／女性28,189人）
豊富な会員数から、希望条件にあったお相手年間50名以上ご紹介！

●イベント・パーティー

◆年間 **2,400^{*3}**回以上！
オープンな集いで、自然な出会いができます。

●会員情報誌「イントロG」

◆毎月 約**2,000**名！
会員のプロフィール、自己PRなどを掲載。



通常料金
¥399,600 (税込)
25% OFF
提携メンバー料金
¥299,700 (税込)
(月額のお支払いはございません)

プレミアムプラン

特定法人会員専用 スタンダードプラン の内容に、

●オーネットパス

専用ルームで写真とプロフィールを見て、その場から交際のお申込が可能。

●エクセレントコーナー

会員情報誌やWEBページの特別枠に、あなたの自己紹介を掲載。

●フォトジェニックサービス

重要なアイテムである登録用のお写真を、提携のスタジオで撮影！

を、さらに追加！！

通常料金
¥495,600 (税込)
25% OFF
提携メンバー料金
¥371,700 (税込)
(月額のお支払いはございません)

※1 2006年1月1日現在（自己都合、交際等により一時的に活動を休止中の15,092名を含む）

※2 (1989年～2005年実績、会員同士の成婚)成婚退会者とは、結婚、婚約を理由に退会届を提出された方を言います。 ※3 2005年1～12月実績 全て結婚情報サービス協議会確認数値

●お問合せ・資料請求はお気軽に・・・

専用フリーダイヤル
お電話 **0120-512-556**

Eメール **join@onet.co.jp**

ウェブサイト **https://info.onet.co.jp**

ケータイからも
簡単アクセス
(全キャリア対応)



O-net

株式会社 **オーエムエムジー**
東京本社 東京都港区赤坂4-9-17
大阪本社 大阪市北区梅田1-2-2

結婚情報サービス協議会正会員
misc
http://www.misc.gr.jp/
経済産業省の外郭団体JIPDECが認定した
事業者だけが使用できるマーク。プライバシー
情報を適正に保護している証明です。

先生による学術調査が、仏教史や仏教考古学に大きく寄与したことは申し上げるまでもありませんが、私は、網干先生の考古学が世界的に樹立されたのがこのときであったと思うのであります。

多忙な研究活動のかたわらで先生は、教育にも非常な情熱を傾けられました。

先生のご薫陶を受けた多数の優秀な研究者が、現在日本の各地で考古学界のリーダーとして活躍している事実がこのことを示しています。まさに網干先生こそは、関西大学の教育理念である「学の実化」を一身に体现された方であります。

大学以外での功績の数々についても挙げればきりがありません。

宮内庁においては、書陵部委員会委員や陵墓管理委員会委員を歴任されました。

また、外務省では外務省研修所の講師として入省した外交官の卵の方々に、わが国の歴史学を教授されましたが、先生の教え子の中には現皇太子妃殿下の雅子さまもおられたとお聞きしております。

ところで、先生と私は奈良県立畝傍中学校（現高等学校）の先輩と後輩という縁もあつて

特に親しくご交誼を賜ってまいりました。

折々に、さまざまなご相談を申し上げ、ずいぶんのご無理をお願い申し上げたこともございましたが、いついかなるときも満面に笑みをたたえながら「しゃあないなあ よっしゃ」とご快諾くださった先生の大きなお人柄に、幾度励まされ救われたことであらましよう。

高松塚古墳の発掘を契機に、当時教育後援会会長であられた植田正路様のご厚志をもとにして、奈良県明日香村・稲渚の地に「関西大学飛鳥文化研究所・植田記念館」が開設されました。

この記念館が建設された時、先生はこれからの大学は開かれた大学として社会に貢献をしなければならぬとおっしゃいました。

網干先生をはじめ数名の先生方と私が、夜を徹して語り合つて実現したのが、明日香村中央公民館との共催で毎月開催されている「飛鳥史学文学講座」であります。

その時、網干先生は講座開催の趣旨概文をガリ版で書きにたり、それを私が萬古の謄写版で手を真っ黒にしながら印刷したことも、今となってはなつか

しい思い出でございます。

この講座は、明日香村そして関西大学教育後援会 関西大学千寿会のご支援を得て、今年で三十三年目を迎えております。

このような長きにわたり一度も休講することなく毎月一回、三十三年間、これまでに三百八十九回の講座を開講し、延べ十一万人もの多数の方々に受講をいただいておりますことは、わが国でも稀有のことであり、まさしく先生のご人徳と行動力の賜でございます。

網干先生は、考古学という、どちらかというと固い暗いイメージのある学問を、非常に身近なもの、明るくポピュラーなものとしてお茶の間に広められました。

まさしく良き教育者として、また、素晴らしい語り部としての網干先生の面目躍如たる功績でありましよう。

関西大学では、元毎日新聞社主・本山彦一氏のコレクションを中心として考古学及び関連資料の移管を受け、その後、変遷を経て考古学等資料室を設置いたしました。

現在は、関西大学博物館として、より充実したものとなっておりますが、先生には初代博物館長としてご就任いただき、ひ

とかならぬご尽力を賜りました。

また、平成十年三月末をもって関西大学を定年退職後も、名誉教授として、また関西大学飛鳥文化研究所所長として、明日香村との連携にお力添えをいただきました。

そのお蔭を持ちまして、現在明日香村と関西大学は地域連携に関する協定を締結し、他の大学がうらやむような強固な関係を築いておりますが、これもひとえに網干先生がおられたからであります。

今、私どもは網干先生のご聲咳に接することができなくなり

お悔み申し上げます

（敬称略）

植野久弥（つちの・きゅうや）昭34学一・新・36学一経、五稜常務取締役営業部長。平成17年8月13日死去。68歳。大阪市。
小山 昇（こやま・のぼる）昭47学二法、今川證券本店経理部。11月4日死去。57歳。大阪市。
今井雅史（いまい・まさふみ）平5学電子・7院修子、中部電力技術開発本部。平成18年2月22日死去。35歳。岐阜市。
和田 昭（わだ・あきら）昭23専一商・25学一商、弁理士・和田国際特許事務所長、元校友会代議員。3月27日死去。77歳。茨木市。
岩田 衛（いわた・まもる）昭41

悲しみと失意にうちひしがれております。
しかし、網干先生の魂は、永遠に関西大学と飛鳥の地にとどまり、未来永劫、関西大学と飛鳥の防人として日本の歴史とともに生き続けるであります。
すべての関西大学関係者は、先生のご遺志を正しく受け継ぎ、全員一丸となって関西大学と飛鳥の地を守り抜くことをお誓い申し上げます。
在天のみたまの安らかならんことをお祈り申し上げ、お別れのことばといたします。

合掌